年中無休刊　大正七年十二月七日　THE KEIJO NIPPO　(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　第四千二十三號 (一)

京城日報

本紙定價(壹部金五錢▲壹箇月金七十五錢▲六箇月金四圓二十錢▲壹箇年金八圓)
廣告料金(五號活字一行金一圓▲二號活字一行金二圓▲四號活字一行金一圓五十錢)
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號

十二月六日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇講和會議の準備
聯合國間の會議と基礎條件審議

巴里來電＝講和會議は明年一月ベルサイユに於て開かるべし然れども聯合國間の會議は來週倫敦に於て開かれ十二月第二週巴里に於て開かるべく此第二回會議に於て前獨帝に對する態度を決定し講和會議の基礎を審議すべし又講和會議に於ては先づ最急務に對し條件の一致を求め該條件の履行を迫る爲め國際平和軍を任命すべし境界線改正問題、原料管理は其後に於て決せらるべし、ロイドジョージ、ボナーロー、バルフォーア氏等は殆んど五百名の英國講和委員の首腦たるべく聯合側大使委員の總數は一千五百名を數ふるに至るべしと(東京特電)

◇講和會議準備交渉
巴里來電＝フォッシュ元帥、佛國首相クレマンソー氏米國政府委員及び伊太利首相オルランド氏、外相ソンニノ氏等は講和準備交渉の爲め倫敦訪問中なり(東京特電)

◇米國講和委員長
米國政府發表に曰く來る可き講和會議に於てはウイルソン氏自ら米國委員長たる可くランシング氏、ハウス大佐、前駐佛大使ホワイト氏及びブリス將軍委員たる可し(紐育領電)

◇我講和條件要點
最近米國に傳へらる、日本の講和條件は全然揣摩臆說なるが我主張要項中重大なる南洋諸島占領、膠洲灣の處分、支那に於ける政治經濟上の特殊的地位承認、西伯利に於ける勢力範圍等は參戰當時に於て英佛側との間に諒解あり小國の保護、海上自由、經濟障壁の撤廢に關しては英米の主張と接觸を保持する方針なりと觀測さる(東京特電)

◇獨逸軍崩潰原因
獨逸休戰委員の自白

タイムス軍事記者曰く獨軍崩潰は國內の事情に原因すと言へる獨逸側の聲言は虚僞なり親しくフォッシュ將軍に會見せる獨逸休戰委員の自白にも獨軍は兵卒の戰意全く缺如せる爲めなりと言へりされば此休戰すに數日の時日を以てせば獨軍全部を投降せしむる事易々たりしなりフォッシュ將軍が特に是を候たざりしは獨軍の全滅の如く易々たるに拘らず味方と雖も若干の人命を犧牲とせざる可らざるより眼前戰捷に輝く平和を見つ、例へ一箇半箇の生命と雖之を犧牲とするに忍びず甘んじて休戰を以て敵を遇したる所以なり(倫敦電報)

◇獨逸聯邦分離運動進行
獨逸聯邦分離運動は南獨逸及びライン地方に進行中なり(倫敦電報)

◇獨軍先頭國境著
西部戰場に在りたる獨逸軍隊の先頭はルクセンベルグ、ミティペンの間にして戰線を距る四十哩なる獨逸國境に到著せり(倫敦電報)

◇前獨帝歸國せん
獨逸前皇帝は歸國す可し(アムステルダム電報)

◇獨潜航艇擊沈數
戰時中獨逸潜航艇の擊沈せられたるもの二百隻に上れりと報ぜらる(倫敦電報)

◇ル將軍瑞典逃亡
獨逸ルーデンドルフ將軍は變裝して瑞典に逃走せり(倫敦電報)

◇エルザ將軍の宣言
伯林來電＝フォン、エルザ將軍は宣言して曰く獨逸陸軍は未だ嘗て社會主義的共和政府設立運動を妨害したる事無し(アムステルダム電報)

◇前獨皇帝王子瑞西到着
前獨逸皇帝第二王子アイテル、フリテドリッヒ親王は瑞西に到著せる旨發表されたり(アムステルダム電報)

◇獨逸丁抹に割讓
伯林よりの電報に據れば獨逸は丁抹に北部シュレスウイッヒを讓與したりと(アムステルダム電報)

◇新塞耳維國名稱
倫敦來電＝塞耳維首相は宣言書を發表しボスニヤ、ダルマチヤ、塞耳維及び黑山國人の小國を合する新塞耳維國は是をセルボクロアートの聯合國と稱すべき旨公表せり(東京特電)

◇西班牙內閣辭職
西班牙內閣辭職しロマノネス伯に新內閣組織の命降れり(アムステルダム電報)

◇英軍ケルンに近く
英軍はケルンに近づきつ、あり(倫敦電報)

◇墺商船差押へらる
墺國商船六十隻ベニスに於て差押へられたり(倫敦電報)

◇米軍の死傷數
米軍の死傷數は總計二十六萬二千七百二十三人にして中死者は五萬八千四百七十八人なり尚當局は十二月中に十五萬人の兵を歐洲より召喚す可く正式講和條約調印後は毎月三十萬人宛歸還す可しと豫期し居れり(華盛頓電報)

◇對支和平勸告反響
五國公使の統一和平勸告は支那中央政界に深甚なる反響あり軍閥派の陰謀に由る內閣彈劾案は立消の姿となり却つて同內閣の同情的信任案提出せられ大多數を以て通過す可き形勢なり(北京特電)

◇講和會議地決定
北京政府は上海にて講和會議を開く事に決定せり又內閣問題は曹錕、張作霖氏等に於て之を疏通する事を擔任し錢能訓氏に內閣を組織せしむ可く副總統選擧の件は中止となる可し(北京特電)

◇大學令及高等學校令六日勅令公布
大學及び高等學校令案は樞密院の諮詢を經て愈々六日勅令を以て公布し明八年四月一日より施行する事となりたり(東京特電)

高等學校令(自第一條至第廿條)

第一條 高等學校は男子の高等普通教育を完成するを以て目的とし、國民道德の充實に努む可きものとす

第二條 高等學校は官立、公立、私立とす

第三條 高等學校を設立する事を得る公共團體は北海道及び府縣とす(以下十七條省略)

大學令(自第一條至第廿一條)

第一條 大學は國家に須要なる學術の理論及び應用を教授し並に其蘊奥を考究するを以て目的とし兼て人格の陶冶及び國家思想の涵養に留意す可きものとす

第二條 大學には數個の學部を置くを定例とす但し特別の必要ある場合には單に一個の學部を置くものを以て一大學と爲す事を得、學部は法學▲醫學▲工學▲文學▲理學▲農學▲經濟學及び商科の各部とす、特別必要ある場合に於て實質及び規模一學部を構成するに適する時は前項の學部を合して學部を設くる事を得(以下十九條省略)

◇新大學令骨子
文部省専門學務局長松浦鎭次郎氏談＝新大學令の骨子とする所は官立の外公立及び私立の大學を認むる事、綜合大學の外單科大學を認め其目的を變更せる點にあり大學に於ては必ずしも一定の學科課程を定め獨立して之を學ばしむるといふが如きを避け自發的研究を爲し又は本人の才能如何により其好む所に應じて充分の力を注ぐの餘裕を與ふる爲學年制を設けずして學生は或學科を聽講するを得る事、學士の稱號を得んとする者は一定の試驗を受くる事也(東京特電)

◇各植民地豫算近く查定終了
明年度の各植民地豫算及び鐵道特別會計豫算は未だ正式には大藏省に提出され居らざるも大藏省は其提出を督促し遲くも本月中旬頃迄には全部の査定を終了する方針なるが一般會計豫算同様頗る嚴格なる查定を加ふる筈也と(東京特電)

◇支那講和使節
支那講和使節陸徵祥氏は四日下關に著したるも同大使は俄然腦貧血に罹りたる爲め醫師の診斷を受くる事となり上京期日は少しく遲延す可く入京の上は國賓として待遇さるゝ由なり(門司特電)

◇長春官吊相場
吉林官吊六千萬吊新に發行されしため俄然長春に於ける官吊相場は弱氣となれり(長春特電)

◇司令官送迎會
田所鎭海司令官は五月來任七日新舊司令官の送迎會開かる可し(馬山特電)

○講和會議の諸問題
國際聯盟は可能なるか
松村海軍中將の車中談

海軍將官會議員より旅順要港部司令官に轉ぜし海軍中將松村龍雄氏は六日朝京城通過任地に赴行した京釜線列車に迎へて刻下の問題に付その所感を叩く

巴里講和會議に列する海軍側の隨員は軍令部次長竹下勇中將に決定した、中將は部內有數の人材殊に英語に達者である、海軍省內にも適材は隨分あるが軍政方面の人は多忙のため永く任地を離れ難い事情もあり旁比較的出易き立場にある軍令部次長の渡歐に決定したのである

▲海洋自由問題

講和會議の議題に上るべき海軍關係の案件中最も重要なるものは米國大統領ウヰルソン氏によつて唱導されてある海洋自由問題であらう、此の問題の決定の模樣如何によ世界の海軍に餘程重大な結果を來さすのである、ウイルソン氏の口を藉て云へば海上封鎖廢止の如き一切の海上權力を減殺せんとするものゝやうであるが、果して然らば黑海とかバルチック海とかの閉鎖を廢止する意味であるか、水雷敷設の制限や商船擊沈等海上權の內容をも損ぼんとするものであるか、若しさる決定を見るに至らば世界の各地に植民地を有する英國は戰時母國と植民地間を連絡すべき海上の安全を保持し能はざる事となり、英國海軍にとつては非常の問題である、然し乍ら米國も巴奈馬運河を有するあり、果してウ氏の云ふ如き提欵の主旨が自由にして且つ斷へず他の脅威を受けざる交通を得るの意を趣意とするものか否か疑はしい而してその決定の結果如何は日本にとつても亦大に注目を要す、吾々の戒心して以てその經過を看んて可なりだらう

然し乍らその海洋の自由問題も同じく議題中の花形たる國際聯盟の成立如何によりてその上議は必要の度を餘程減くするであらう、何故ならば堅い平和同盟の國際聯盟が成立すれば戰爭は先づない事となり從つて戰時に於ける海上自由の問題は起らぬからである、然し乍ら國際聯盟の如き大問題が今回の會議で決定し而して永久に戰禍を地上より除かんとする事は恐らく予の觀る所では六ケしいと思ふ、先づ國際聯盟に對する列强の意向を通じ合ひ、豫備的の打合せとなす位に留まりはせぬか、國際聯盟とは何人も知れる如く米國の前大統領タフト氏等により唱へられた國際仲裁々判制度に一歩を進め權威を付したものであつて、前二回和蘭海牙に於ける平和會議でも列强共に一致點を見出さずに居るのである、此の問題は誠意は誠によい、然し乍らその主眼はいかにして國際上の紛議を解決せしめるか、いかなる力を以て紛議を裁くかが難物である、又例令國際聯盟が出來ても戰爭を絕對に根絕する事は難づかしからう、茲に於てか相當程度の軍備は依然必要である、非幸ひにして今回の會議で聯盟の成立を見れば其の聯盟を破つたものは列强より憎まるゝ事となる、從つて各國より惡しざまに見られるのは結局その國の不利であるから戰爭の如きに手出しを差控ゆる、乃ち消極的の平和維持策としては有力であると稱し

▲獨禍の防止

獨禍の再發を防止する點より講和會議で獨逸海軍の制限問題は起るまいかと云ふのですか、恐らく左樣な意味の制限問題は起るまい、軍備制限問題が出づるとすれば世界共通のものと見てよからう、獨逸海軍の再起は今回の休戰條約にして實行されんか將來五十年や百年やの間には事實上不可能と信ぜらる、然しながら獨逸の再興を阻む事は或る點に於て必要に相違ない、それには莫大な償金を獨逸より收めて軍備財源の枯渇を計るのが最上策であり、列强の意圖はこゝにあらうと吾輩は考ゆる、露國の講和使節は多分適當の者を聯合國で選出する事と思ふ、露國の將來がどうなるかは姑く措き巴里の講和會議では露國は獨墺より何者か取る方に屬する、償はねばならぬ立場ではない、從つてその代表も六ケしくはないのである

▲南北安協成らん

五國政府の支那南北妥協勸告は恐らく功を奏する事と思ふ、世界的平和來をキッカケに南北何れにも偏せざる交讓妥協を求むるのは誠に道理ある行き方である、一方に偏し一方をのみ助長しコセついてゐてはその國內の和平を招來するのは難いのである

◎總監茶菓饗應
山縣政務總監は目下開會中の各道及び模範場農業技術官及び各關係者を七日午後十二時半より京城ホテルに招待し茶菓の饗應を爲す筈なるが總督府よりは宇佐美小原兩長官及び秋田總務局長以下各關係職員出席すべし

◎外米輸入有望
歐洲食糧に對する救濟策として東洋方面の米產地より米穀の輸送を開始すべしとの說に對し某當局者の語る所を聞くに歐洲諸國に於ける食糧の缺乏は事實なれば歐洲に向け輸出せらる、米穀の數少からざる額に上るべきは推察するに難からず而して其爲め目下外務省を通じて交渉中なる西貢米の輸出解禁に影響するや如何を見るに未だ外務省に對し確實なる報告到著せざるも當業者其他の許に達したる報告を綜合するに西貢米一箇年の輸出可能量千三四百萬石は收穫すると同時に官憲の手に依り輸出の許可を要するが故に本年の如き場合には濫りに輸出の許可を爲さゞるべきも本邦の消費量の輸入に對しては充分許可を得る望みあり且つ其柴棍、安南地方の米穀の輸入も有望なれば本邦の所要量の輸入は可能なる見込みなり但し歐洲の需要增加に連れ價格の騰貴すべきは已むを得ざる所なるも神戶著一石廿二圓位にて取引せらるゝ豫定にて外米收穫期たる一月頃迄には解禁に關する交渉も落著すべきに依り遲くも二月初旬には續々外米の輸入を見るべく輸入に關する船腹配給等に關しては極力遞信省にて努力する筈也(東京)

◎仁川期米持合
六日の仁川期米は中限寄附三十四圓八十五錢止め三十四圓八十一錢先限寄附三十四圓二十五錢止め三十四圓三十二錢にてさしたる値幅なく昨日より持合の商狀にあり

◎農業技術官會同 ＝第五日＝
農業技術官會同第五日は六日午前九時半より總督府第二會議室に於て小原殖產局長官裁の下に開會直ちに日程に入り午前中協議事項の協定あり午後は事務の打合せあり同四時散會せり

◎上海製茶露境輸出
上海に於ける生糸製茶業は歐洲戰亂の打擊を受け本年來製茶各工場の閑散は異常なるものあり茶取引の問屋は上海に七十軒あれども約半數は商內閑散休業に均しく敢て資本を投じ積極的に販路を擴張せんとするもの無き有樣狀態に陷りたり此處に注目す可きは安徽省の大茶商たる謙茶會の主人汪惟穂君は露境方面に於て茶の需要頗る急なるに鑑み自己の製茶工場に大資本を投じ機械を增設し大々的に紅茶、磚茶の製造に著手せし爲め上海の茶商より多量の供給を仰ぐこと、なれり爲に上海茶商も茲に稍愁眉を開き得るに至れり(上海)

◎雲南の植物油
(海防)雲南鐵道商務局員の調査に據るに雲南鐵道沿線に產する菜種は九、十月頃栽培し四、五月頃收穫し含油量豐富なるを以て製油に適す歐洲戰亂にて礦油の暴騰せる際品質佳良なる雲南菜種油は頗る世人の注意を惹く處となれり鐵道附屬地內のみに產するもの三千五百噸乃至三千五百噸に上り皆支那式にて搾油され油粕其の六十七パーセントを占め油粕一個の重量四五斤あり製油量は三萬乃至三萬五千擔に達せり其油料として菜種の外に黃白黑の胡麻、落花生、桐、棉子、蓖麻あり落花生は年產二萬一千乃至二萬六千擔の額に上り居れり(上海)

◎定例長官會議
六日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官並に所屬官署長參集し重要政務に就き協議する處ありたり

◎關稅定率改正
關稅定率令第四條の二に依り加工製造の爲め輸入する物品に關する件中改正の件は七日官報を以て公布即日施行の事となるべし

◎軍司令官歸期
宇都宮軍司令官は目下東京滯留中なるが多分來る十一日頃東京發歸任の途に著く可しと

◎林權助男通過
前駐支公使林權助男は七日午後七時二十五分南大門驛通過直行內地へ向ふべし

◎毛利男動靜
五日夜半仁川方面の視察を了へて入京朝鮮ホテルに入れる毛利五郎男は六日中央試驗所及び京城府內の朝鮮人各學校を視察し七日は京城近郊及び纛島模範場及び京釜線平澤方面に赴き九日下仁川築港を視察の上十二三日頃退京の豫定なり

○平澤中佐歸任
軍高級副官平澤安次郎中佐は幾に宇都宮軍司令官に隨ひ東上中なりしが七日午後大田第三大隊に下賜せられたる御眞影を奉戴し歸任す可しと

○京電の忘年會
京城電氣會社專務木本倉二氏は九日午後六時京城記者團を花月に招待し忘年會を催す可しと

人事消息
▲西尾保氏(東京濱見肥料會社專務取締役)六日朝入京朝鮮ホテルへ

▲城津地方法院長 森川に出張中の處六日歸京の途

茶前酒後
◇列國よりの講和委員が、既に決定せられつゝあるにも不拘、獨逸國內の紛擾は尙ほ未だ甚だしき爲め、講和談判の取極め、容易ならざるものゝ如しと傳ふるものあり。

◇紛擾騷亂は獨逸の內政也、爲に講和の見込立たずんば、聯合國は實力を以て、獨逸に處分すれば可也。此際何の躊躇を要せんや、之れ寧ろ世界平和を促進すべき、最上の方法に非ずや。

◇佛軍が四十八年振にメッツに入りて、會稽の恥を雪ぎたるは痛快也。寧ろ聯軍長驅伯林に入り、此所に恒久的講和の用意をなす、亦今日の一策たらずんば非ず。

◇講和會議に於ては、先づ其先決條件として、カイゼルの引渡しを迫るべしと、壯哉。大那翁世界を敵として、セントヘレナに流謫せられ、今は其大野望を繼承したるカイゼルの末路が、其に近からんことすゝ當然也。何ぞの異數にも非ず。

◇亦事にも手ッ取り早き米國は、講和全權委員の顏觸公表も、世界に先驅を著けたり。ウイルソン大統領は扨て措き、茲に最も吾人の注意を惹くは、ハウス大佐にして、彼は實に大統領の懷刀也。

◇彼は米國參戰と共は、ウ氏の命を含みて渡佛し、昨年十一月の巴里會議にも、公式に米國を代表して列席せり。惑星的なる彼が、公の舞臺に於て、其手腕を試みるは、實に今回を以て嚆矢となすべし。

◇米國の講和條件は、ハウス大佐が參戰の當時より、準備し居たるものなりと迄、既に名聲隆々たるが上に、更に今回の初舞臺に及第せんか、大佐は一躍して全米國の人氣を、一身に集むべしと豫期され居れるは、唯に米國のみに非ざるが如し。

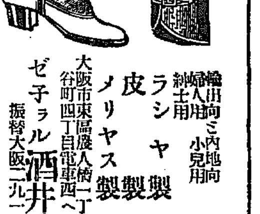
京城府南米倉町(電話二七六一番)
岩崎醫院
院主勤務演習ノ爲應召不在中ノ處本月二日召集ヲ解除セラレ候間從前ノ通リ診療ニ從事致候

株式の選擇は
公債株式現物問屋・信託

銘柄	拂込金額	時價仲値	備考
朝鮮銀行	百圓	百六十二圓	配當增加ノ見込
同新株	二十五圓	八十圓	同
殖產銀行	二十圓	二十三圓	前途益々好望
南滿鐵道	七十圓	百十圓	配當增加ノ見込
同新株	三十圓	七十七圓	同
久原鑛業	五十圓	百十圓	前途益々好望
同新株	十二圓半	五十圓	同
東洋製鐵	二十五圓	三十五圓	前途悲觀ノ要ナシ

京城永樂町二丁目 電話四九八番
丸五商會 有田晴長

職業
手輕で奇麗な座敷で出來る日本鉛筆製造は確實なる上賃を得る上に希望者は買取りて又利益を得る一擧兩得の模範職業案內書を見られ一時の利慾に迷ふ勿れ原料付與見本四錢代理店大募集
大阪天滿橋筋二丁目 日本鉛筆出張所
大阪中津町下三番 日本鉛筆製造所

ゼネラルゲートル

輸出向き內地向 婦人用 小兒用 紳士用
ラシヤ製 皮製 メリヤス製
大阪市東區慶人橋一丁目谷町四丁目電車西へ入
ゼネラル 酒井清七
振替大阪二九一三五番

(合) 可驚 金儲
百圓の投資に三年にて千圓になる
安全確實な利殖組織 申込次第規則書速送呈
大阪一丁目 大成社

＝大新と土地株＝
目睹刻下ノ株界ハ裏面ノ偉大ナル潜勢力ヲ窺知スルニ足ルベク將ニ平和惠澤ノ徵象タリ出來高激增ニ小口落復活說ニ衆望ノ焦點タル大株ノ奔躍目睫ニ迫リ土地株亦絕對好望ノ平和株タル敢テ贅言ヲ須ヒズ況ヤ同種經營中出色ノ港土地ニ於テヲヤ茲ニ兩者ヲ推奬シ第十三回組織シテ巨利ヲ收メ每回ノ好績ニ更ニ光輝ヲ添ヘントス同士續々來リテ致富ノ捷徑ヲ辿レ
申込期間十二月十六日 加入金一口五拾圓
第十三回 同 株式(大新 港土地)買同氣會
日本信託證券部
大阪市北區堂島濱通一丁目 電話長北二九〇 大四〇五九
▲會則內容說明書贈呈す▼

歲末贈答の好適品
は水川式洗米器!!!
▲本器の光榮(發賣以來大好評を賜り現今日に一萬以上の御愛用を得奧樣や御女中樣より頂きたる多數の禮狀と有效證明とは實用上如何に便利で重寶なる發明品たる事を立證して居ります)
▲本器の特色(日々の御飯焚きに水にも米にも手をつけずに綺麗に早く洗へます直段が安くて强くて手輕です)
▲三年間保險付▼
米洗器 定價 壹挺 金四拾五錢
送料(鐵道小荷物送費金七錢荷造不用 郵便小包送費金八錢荷造費金五錢)卸賣直段は別に御照會を願ひます
特許受付四一二四四號
水川式米洗器 發賣元 朝鮮群山港 水川商會 電話長二一七番

時間表
大正七年七月一日改正現行

◎兩宮に春色漂ふ
御婚儀勅許當日の李王ミ李太王 此上なく御歡び遊ばさる

李王世子殿下ミ方子女王殿下ミの御婚儀は既報の如く五日愈々勅許あらせられたるが關李王職長官は同日右の御沙汰を拜するや直ちに李王、王妃兩殿下の御前に伺候して勅許の趣き言上し次いで德壽宮に伺候し同樣言上したるに各殿下とも此上なく御歡びあり宮內側に於ても何れも非常なる喜びに滿ちて居る

▽春の氣分 漂ひたるが殊に李太王殿下の御歡びありし事は非常なものにて『多年の懸案が解決したのは何より目出度い』ミ云ふのは皆 陛下の御稜威に依るものである』ミの御言葉さへありしミ申す、田中庶務課長は語つて曰く『兩殿下の御慶事が此度の勅許によつて愈

▽具體的に なつて來たのは誠に此上もない目出度いこミミ言はねばならぬ是からは最う御慶事の日を待つばかりで八日には御納采の儀を行はせらる、筈であるが此御納采が目出度く相濟むミ十三日を以て告期の儀を行はせらる、筈定である

▽告期の儀 ミ申すのは王世子殿下から方子女王殿下へ御日取を御通知遊ばす御儀式であるが御擧式の御日取は今のところ來年一月廿五日ミ內定して居るミ承はつて居るが是は告期の儀が濟むミ宮內省からも公表され李王職からも公表する事になつて居る』

▽兩殿下御禮 王世子殿下の御婚儀は愈勅許あらせられたるに付李王、李太王兩殿下には六日午前十時閔李王職長官を總督府に差向けられ山縣政務總監に對し 兩陛下へ御禮執奏方御依賴相成りたり

▽御親戚へ通知 李王職にては六日午前市內及び地方の李王家御親戚三十五家へ對し夫々勅許の趣き通知する處ありたり

◎戰利艦は有難く無い
分配は列强間に問題にならぬ
松岡海軍中將車中談

『聯合國に引渡された獨逸の軍艦や潜航艇をどう分配するかミ云ふ問題?、ナーニ大した事はない』ミ前提して六日朝京城を通過旅順の任地に向つた松村海軍中將は語る『全く獨逸の屈伏ミなつて見れば問題は聯合國間にきめてそれを獨逸に强ゆる事ミなるのであり、機略も接衝も頗る穩當でよろしい左樣な方面に起つては西園寺侯の如き世界的大政治家が最も適當であるミ思はれるミ二艦軍艦ミ云ふものはその國の風に製艦られてゐるそれが大事な點である、他國の軍艦を分加つて自國のものミして夫れ數の所ゆる戰鬪力は增加するものでない乃ち日露戰爭後 露國よりの戰利艦が吾が海軍に卓越した力をつけなかつたのミ同じである、獨逸よりの戰利艦をいかに分つかの如き列强間の問題にはならぬミ思ふ、他國の軍艦より賠金の方が餘程よいのである

▽講和使節
山本伯の問題

山本伯の講和使節問題は一昨年頃から唱へられてゐたが結局モノにならなかつた、ミ云ふのは今回の大戰爭が噂され如く五分々々位の狀態で講和の議を開く事ミなれば力の折衝を餘程必要ミするであらう、乃ち山本伯の如く徹底性に富んだ機略縱横で押しも强く更に睨みの利く傑物をもつて行くに限るのである、然るに

◎連絡船上陸客 四日

午前入港新羅丸二三等客

連絡船上陸客名簿（二等）：郎、頼田マツ子、野口游、村山…、郎、再藤平榮七、富田治之助、今村佑次郎、同キクエ、同一亭、橋本一…、三島雄五郎、岡本龜太郎、粕谷卯三郎、松崎盛一、東郷外人、仙波やす、茂木安太郎、岡本暢、戶村保一、平岡晋吉、外一人二名、高橋森郎、姜信旭、宮延諧、宮鐵瑞、…齋藤次郎、岡本照一、陸運晃、金璉夏、價格恒、三等（百二十八名）、滿原貞、松田三次、荒木又男、李鄉雨、林相植、明石東次郎、佐藤秀雄、池水幸太郎、久野彥藏、植木清、同たつ、同ち…よ子、前田豐作、本田太平太、小…佐次郎、本田榮三、山本賀市、酒谷慶介、近藤唯介、村谷武夫、河野ぬゑ、仙波…松、松岡正藏、本田楠金太郎、櫻井藤吉、外人三名、藤静治、西條利八、竹內駒三郎、山內善吉、平野周太郎、佐々木末吉、奧田和三郎、中聖雄、馬場要太郎、山岡三五郎、原勝一、水島佐蔵、加藤佐太郎、加…外人一名

◎後貝鐵道 操車不可能
の慎あり

近時後貝加爾鐵道の故障頻發し機關車の破損益々增大し十一月六日より同月末までの調査に依ればオロヤンナヤ驛には十二車ボルジヤ驛には九車あり之がため列車運轉は非常に遲延し甚だしき不便を感じつゝあり加之石炭の不足のため豫備用石炭を使用しつゝあれば探炭工を以前に倍して行はざれば早晩操業不可能ミなる可きを以て目下之が善後策研究中なり(哈爾賓着所報)

◎好成績の貨車砲
六發を試驗す

陸軍技術審査部にては既報の如く一日靜岡縣沼津町南方蛇松線字蛇松附近線路上に於て貨車砲一門を据付け實彈射試驗を行ひたり同日午前八時審査部長島川中將は瀬少將以下各將校を隨へ現場に出張して準備整ひ午前八時五十分試驗開始の合圖ミして號砲一發を放ち續いて實彈を裝塡し發射各技術將校は車臺の動搖其他微細の點に亘りて研究を爲し正午迄に六發の實彈を發射して研究せるが試驗の結果は公表の自由を有せざるも好成績なりしミ(沼津)

◎三圓の增給を要求す
長春同盟罷工

長春附屬地の支那人職工は賃銀値上を迫り同盟罷工中なるが以前より三圓方の增給要求なるも不日解決の見込なり(長春特電)

◎殘虐度なき… 露過激派の犧牲
人生の不幸を鍾めて埋れたる ロマノフ家の末路
早川從軍記者

日ミしてアラパエフスキー鑛山の坑中に=ニコライの屍は捨てられたか=チタにて

エリザヴエタミ同時期にありし大公女某大公妃官等の屍の如く屍れり

英國ノツクス將軍一行は今回エカテンブレグ市を訪問したるがニコライ廢帝及び其家族の悲慘なる最期に就て左の如く語れり

時は六月十七日廢帝及び皇族の殺害せられたることは確實なるが夫等の屍體はエカテリンブルグ市より程近きアラパエフスキー鑛山の一井形坑の中より發見せられたり、修道女の服裝を著けたるセルゲイ、ミハイロウイチ、エリザヴエタ、アエオドロウナ及びコンスタンテン、コンスタンチノウイチの三子の屍體を始めミして

◉屍は累々 ミして横たはり居りしが屍體に何等の傷跡なき處より觀れば彼等は活けるまゝ井形坑內に投ぜられたる者の如くセルゲイ、ミハイロウイチの死體には數箇所に彈丸又は劍傷あり見るも無殘の最期を遂げたり、ニコライ二世及び其妃マリヤ、フエオドロウナ及び子女等の殺害も同日深更に行はれたるが番小舍には到る處彈丸の跡

◉未怖ろしき小過激派 チタにて 早川從軍記者撮影

露西亞人を見たら泥棒ミ思へミ言はる、程に露西亞人は盜癖をもつてゐる、それが過激派の天下ミなつてからは極端になつて婦子供までが白晝掠奪竊盜を働いた、官兵の主は小過激派で夜襲へ行つて見るミ每日數十人は拘留されてゐる親を喪ひ家を失つた之等少年は街から街へ彷徨て惡事ばかり働いてゐる甚だしいのになるミ夜陰停車場で貨物列車に忍び込み列車が動き始めるミごしく貨物を墜し一二町して飛び降り拾ひ集めるミ云ふ際どい藝當を演ずる小過激派の將來恐る可きである

◎朝鮮は違つた
◇夫人は軍司令官夫人ミ姉妹

朝鮮には僕は古い馴染だ、二十七八年役の當初大島混成旅團を輸送した一船の指揮官は吾輩だつた、又三十四年の春四月釜山から京城に陸行した事もある、當時の記憶ミ現狀を比すればその異ひ方の甚しいのに驚く、最近は一昨年練習艦隊の司令長官ミして訪問した、尙ほ中將の令閨は宇都宮軍司令官の令夫人ミ姉妹だそうで軍司令官ミは義兄弟の關係だミの事である

◎前獨帝を殺人犯人
として訴へる

◉獨艇に夫を殺された一寡婦

獨艇にサセツクス號が獨潜水艇に攻撃せられたる時同船內に於いて死亡したる佛國船客の一寡婦は佛蘭西國司法大臣に宛て正式にウイルヘルムツオルレルン(前獨逸皇帝)に對して殺人の訴へを爲したり(巴里電報)

◎米國で麥酒釀造禁止
亞米利加合衆國全土を通じて麥酒及び其他の麥芽を原料とする飲料釀造は十一月三十日夜十二時を以て最後こしたり(紐育領發電)

あり床には生々しき血痕の跡殘りて番小舍の壁は醜怪なる繪畫及び落書を以て蔽はれ居たり

◉人生最大 の穢辱を與へたる諷刺畫を以て下府民がロマノフ家を蹂躙りたるものにてボリヤコフ及チユツカエフの兩委員が現場に在りたりしも彼等官吏者は其後行方不明ミなり今に至るも殺害現狀を詳細に知る者なし、廢帝の死體は隣家の者が石油箱に入れ自動車にて市外に搬出したるを見受けたるが其屍體は埋葬したるものか又は

◉投げ棄て たるものか一切不明なり、廢帝の番人はロシヤ、ユダヤ、ボーランドの三國人にて殊更に最も沒常識なる者を選定したるもの、如く番頭はアブラム、ユロウスキイミ言ふ過激派の者なりし

◎齒科醫試驗が
三年延びる?

◇年內に發表されん◇

正に文部省では齒科醫師試驗を大正十年度限り全廢する事こなつたので各方面から大部反對の聲が起り全國に散在する五千人もある受驗生を三年間に何うやつて片を付けるなど、皮肉的反對を爲す者もあつた之に對し文部省では一年に何回も試驗を行ひ出來る丈多數の及第者を出すように努めるミ云つてゐたが此程同省では大正十三年度まで延期する事に內定し近く開催される中央衞生會の審議を經て年內に發表するこの事である

◎悲鳴して女學生卒倒す
汽車通學女生に及ぶ魔手

◇恐怖の爲め 五日午後四時十分南大門驛發大田行混合列車が永登浦驛を發車間もなく客室の一方に當り突然『朝鮮人が恐い……』ミ悲鳴を揚げて

▼卒倒せる 女學生あるを蘇井乘務車掌が認め直ちに應急手當を施して辛うじて蘇生せしめたるが件の女學生は水原より京城某女學校へ汽車通學中の某(一八)にて同校が近頃年末試驗中なれば他の通學生よりも一列車遲く通學せんものミて未明自宅を出で水原驛に向ふ途中朝鮮人が後より追ひ縋り突然同女を引倒し怪しき擧動に出でたれば同女は

▽悲鳴を揚げつゝ極力抵抗し辛うじて魔手を脫れ附近の家に驅け込み難を免れたるもそれ以來同女は頗る昂奮し朝鮮人を見れば一種の恐怖心を感じ遂に斯くは卒倒したるものなり之れ因に各鐵道沿線より京城各學校に通學せる男女生徒三百餘名あり父兄達は十分注意を要する事にて京城府學務課に於ては是等通學生安全方法に就て協議を開始せり

◎貴族富豪亦顧みるを要す
東京米騷擾公判秋山檢事の論告
◇角海老に放火せる金子大吉に十五年を求刑す

東京米騷擾事件公判は五日午後再び開廷各被告の辯論を了して秋山檢事の論告に移りたるが論告に曰く『歐洲交戰國が人道の爲め劍を握り各々其難に殉ずる時に方り我國民も義務の下に本件騷擾を惹起したるは現代の

◇不祥事な り騷動の直接原因は米價騰貴にあらんも騷動に參加したる多くの被告は物價騰貴に苦しまざる勞働者雇人等にして中には酒に醉ひて本件に加はりたるもの多數あり遠因は全く恐るべき國民思想の

◇動搖の結 果誤れる自由平等に因はれたる精神的並に物質的不安の念に驅られ本件を生むに至れるものならん此の意味に於て世の貴族富豪も亦顧みるを要すミ縷々數千言を費したる後十三日夜日比谷附近に於て騷擾したる野中卯作、猪口嘉一郎、高木忠治の

◇三名に對 し懲役一年其他には四月以上十月以下輕きは罰金三十圓より五十圓の範圍に於て罰金を又十四日吉原附近の騷動に加はり角海老に上り放火强盜を働きたる金子大吉に

◇十五年刑 須藤保治富永鐵次郎に六年刑其他に對しては四年以下四箇月以上罰金三十圓以上五十圓以下の範圍にて十五日夜

◎鰯商殺し公判餘錄

五日京城地方法院で開廷の鰯商殺し公判は事件が事件だけに果して大受けであつた。傍聽人は百人に限られて居るので早く出掛けねば間に合はないミあつて、九時半の開廷に先著は午前五時から正門前に待ち構へ七

◇鰯商殺し公判の係り判官 右より田中裁判長山澤檢事、寵間卓、竟判事

◇罰金體刑 の範圍にて求刑し之にて檢事の論告を終り午後五時閉廷したるが四日より六日に亘り各辯護人の辯論ある筈(東京)

七時頃には押すなくの有樣。七半には札止めミなり、遲れ馳せの連中は指を啣へて門前に取殘されるミ云ふ混雜、何の事はない天勝の奇術でも見るやうな心持らしい『是では札錢一圓取つても滿員は受け合だつたね』ミは裁判所での評判

▲被告席に 都野川ミ忠信の兩人が一間位の間を置いて並んで腰掛て居たが都野川は忠信の方に一向目を呉れず 忠信は時々都野川を盜み見ては ホロホロと泣いて居た。身から出た錆ミは云へ兩人共斷腸の思ひがしたであらう。見て居る者さへ哀傷の感を唆られた。

▲山澤檢事 の論告は堂々ミして而も熱が籠つて居た。その論告中に都野川が忠信に宛てた手紙四五通の朗讀があつた。その中に『……昨夜も遲く迄座敷に出られ身重の身體を以て嘸々御苦しかりしこミ、存じ候之も皆小生の不甲斐なきこミより……』『元より戀は悲しきものとは豫てより存じ候へ共昨日今日の小生の心中の苦しさ生れて三十餘年の間斯くまでも苦しき……』などの戀情濃かな文句があつて滿廷の人を微笑ませた。

▲傍聽席に は被害者鳥飼武次郎の未亡人及び吉川康馬の妻が控へて居たが辯護士の辯論が終つてから鳥飼未亡人は訴訟代理人の手を經て私訴を提起した。それは都野川に對して被害金額の請求であつたが 一萬幾千圓は既に假下げとなつて居るので 六千三百七十五圓を請求した。また此外に遺族慰藉料家族扶養料、弔慰料等千圓餘を請求する筈であつたが被告に同情してそれだけは止したのだミ云ふ。

何故都野川に之れだけの金を請求したかミ云ふに都野川の鄉里の養家は以前二三萬圓の資產家であつて借財彼是を差引いた現今の財產も價約一萬圓位は有るミ云ふ事だからそれを當てに叙上の請求私訴があつた譯であらう。都野川は之れを快く承知して萬事を日非辯護士に委任した。

◎少年父の金で酌婦を身請

東京府下北多摩郡狛江村農渡邊鶴之助長男晴男(一九)は父の金千六百圓を持出して山梨縣甲府市に赴き豫て馴染なる同市御崎町料理店玉野屋事方酌婦長谷川はる(二二)を百圓にて身請してはるの親許なる府下千駄ケ谷町八二七長谷川元吉方に潜伏中を新宿署の手に押へられ目下父鶴之助方へ照會中也ミ(東京)

◎順天丸遭難

木浦麗水間朝鮮郵船汽船順天丸は五日午後五時頃ハクヤ島北方三浬の海上航行中シヤフト折れ遭難せるの麗水署よりは警備船を現場に派し救助中

◎成道會

若草町曹洞宗別院にては七日午後七時より成道會を催ふす由にて一般參會を希望すミ

◎柳河人忘年會 延期し來りし秋季例會を兼ね七日午後六時より水標橋通支那料理店雅叙園一樓に於て忘年會を催す由同鄉者の向きあるも通知漏れの向もあれば同鄉人發起者にして入會希望者は至急永樂町榮洋行(電一一四七)まで申込まれたしと

◎元町小學校燒失原因
暖爐の後始末をなす以前に……?

龍山元町小學校燒失原因に就ては龍山憲兵分隊に於て今尙取調中なるが發火當夜の毛川宿直、關本小使は能く沇暖爐後始末の粗漏に非すミ主張し居れるが同校にては常に夜も平日の如く夜學を開き最後迄暖爐を焚きたるは應接室にて而も今回の

▼發火場所 も該應接室なれば暖爐の後始末粗漏より斯る大事を惹き起したる說有力なり何分同校は木造の上にペンキ塗にて火を發するや忽ち燃え廣がり同校構內の山上にある消防見張所が之を認め直ちに龍山分遣所へ電話を以て通報し同分遣所員の駈け付けたる時は既に一面の猛火にて手の付け樣なかりしほどにて從つて發火の

▼放火に非 ざる・は疑ひなく唯發火原因が暖爐の後始末粗漏によるか乃至は後始末をなす以前既に發火の原因をなし居たる箇所ありたるに氣付かざりしか何れかの一なるべしミ

因調査上非常に困難を感じ居れるが絕對

▽速かに再建したい
◇府當局では

尙ほ同校燒失損害高に就ては目下精細に調査中なるが約五萬圓餘なるべく同校再築に就ては近日中に各關係者會合し協議を開くべく府こしては兒童教育上速かに再建せしめ度き希望を有し居れりミ

◇……警察の窓から……◇

▲喫火 五日南大門通り某官吏が火鉢の灰を造る爲めに庭で炭俵を焚き火事ミ間違へられて消防が駈け付けた騷ぎがあつた。又同日某大工が鉋屑を焚いて同じく消防出動の騷ぎがあつた。それで之から焚火をする場合には最寄りの交番へ屆出づべし

◆學事視察團より(二)

翌二十三日には排曉早起神社に參拜、神前に額づき祝詞に心耳を淸まし神酒神饌の獻し森嚴崇高の氣心胸に充ち致し申候宮司より我國都ミ神社ミの關係の話あり一府縣名の必要なるにつき簡明なる說明あり一府縣合の必要を深からしめたる次第に候當日は新嘗祭のこミとて恰も縣知事勅使ミして參向ありたるを目睹し神社崇敬の實際を親しく見て敬神の念を起さしめたるこミ少らず誠に偶然にも好日に遭遇したるものこ存候宮島よりは驛より特別せ保險に乘り海上晴氣を賞しつゝ宇品に上陸し市內の各學校縣廳市等の視察を試み比治山公園等の見學をなし晩には校關係者の出迎を受け本館地寓驛(?)施小十字街にて縣、市、兩教育會主催の歡迎實會に臨み望外の厚遇に一府恐縮を增したる次節に御座候懇談會には縣知事荒川縣士財部內務部長等廣島知名の士臨まれたるは如何に縣市が熱心に心盡されたるかを知るべき可く候

ね小便 治療期間 本院長齊尾重博士苦心發表の新劑は効力偉大全治の證狀續々來着せり今や日本全國各地より手當服藥等にて不治再發し自暴の悲觀せず詳細は三錢切手添へ證據直に東京市向島新小梅一番地◎院長直營◎最新ら京向東新療法院藥品部へ申込め◎無代進呈解說書

大口入 黄金町長橋町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

到る處の文房具店にあり ラーヂ萬年筆(登錄) LARGE C.SAKAI 男子用壹圓五拾錢より十金圓迄 婦人用金貳圓卅錢より拾金圓迄 賜宮內省御買上 賜各宮殿下御買上 東京市日本橋區馬喰町 文房具問屋宮內省御用 酒井長次郎商店 電話浪花五一七番 振替東京四九五三

釜山著名商店案內

酒精、燒酎(壹入 販路) 西貢米、碎米、大豆、小豆 砂糖、麥粉、雜食料品 釜山理方新町 福榮商會 電話長一〇八番 部齋

雜貨問屋 釜山本町 … 電話…

月刊 清酒・罐詰 電話三五九番 釜山 (東) あづまや商店 發行 糖粉・官煙・ 振替京城三三九番

… 商店 スマートな商品

(糸) 釜山 島田糸店 糸類物專門 電話五七八

長岡商店

花柳病外科專門 ◎梅毒・淋病・泌尿生殖器病 ◎睾丸病・肛門病・皮膚病 ◎婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通殖銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番 606

新荷著 博多荷車 京城本町二丁目 森啓助商店 電話四三〇番

京城元町公立尋常高等小學校長鈴木志津衞儀本月五日同校火災ニ際シ死去仕候間生前辱知諸君ニ謹告仕候
追テ一々御通知狀差出不申候ニ付御諒恕被成下度候
本月八日午後二時元町小學校々庭ニ於テ相營可申候尙葬儀ハ途中行列ヲ廢シ候
大正七年十二月五日
京城府元町一丁目
男 鈴木陽一
親族總代 鈴木平吉
鹽川孝吾
入澤重麿
金谷充
友人總代 鄉津友彌
河野卓爾
執行猪太郎
廣居大八

會長鈴木志津衞氏其の職に殉じ死去せられ候間八日午後貳時元町小學校庭に於て葬儀執行可仕候條此段謹告仕候
元町小學校 男子部 女子部 同窓會
同窓生各位

荊妻貞子儀永々病氣の處養生不相叶去る一日兵庫縣御影にて死去仕候間此段生前辱知諸彥に御通知申上候
追て葬送の儀は明七日午後二時途中行列を廢して仁川花町華嚴寺に於て相營み申候尙午後四時生花放鳥の儀は堅く御斷り申上候
十二月六日
夫 沼波福松
男 同 一郎
女 同 滿子
親戚總代 同志 左太郎
沼波 左太郎
村谷吉藏
三宅春市
友人總代 鈴木倭
稻田勝彥

天氣 晴

(六日午後六時より七日午後六時迄)
十一月七日
日出 午前七時三十四分
日沒 午後五時十五分
滿潮 仁川 午前九時四十二分 午後 … 釜山 …

京城日報

★風說に脅された★
西伯利の毒風と毒露
調べて見たら何でもなかつた
第三師團軍醫部長　長野文治氏談

是は長野第三師團軍醫部長の談である……前號參照（早川發送）

ブルガ風の正體
西伯利の風でも何んでもない

西伯利には『ブルガ風』といふ至極危險な風が吹いて之に遭遇すると身體立ちどころに冷却し血管內の血液が凍結して即死すると稱せられ又た『紅露』といふものが降つて之が飲料水に混じたのを知らないで飲むと中毒して之も即死するといふ事を傳へられてゐたので研究して見た所がブルガ風といふものゝ實體が判つて些しく滑稽に感じたと云ふのは此ブルガなる風は特殊の毒風でも何でもなく

蒙古語で吹雪の事
をブルガといふのである、故に途中に於て此吹雪に遭つたら人家乃至物陰に止まつて晴れ間を待つて行く樣にするとか又は馬に乘つて此吹雪に遭遇したら手綱を弛めて馬の行く通りに行かせたら必ず馬といふものは道に迷ふものでなく乾度我家へ歸る事に決まつてゐるから自分の居る所へ歸る事ができるソレから吹雪に遭つたら馬を下りて馬を風上に立て自身は其の陰に隱れて行くのも一策であらう。

紅露の實體は何
これとて心配は些しもなし

それから『紅露』の實體は何であるかと之は目下不明であるが恐らく火山灰ではないかと思ふ之は未だ充分に研究してゐないがチタ附近には全然無くつて西伯利も西伯利のズット奧の方でないと此の現象を見ないさうであるから紅露に就ては聊かの心配もない

◎眞の廻穀は
舊正月頃ならん

例年十一月に入れば新穀の出廻り期々年々も市場を賑はし殊に旬月に入りて其の極盛期となるを例とせしも本年は豫想外の凶作なるにも拘らず十一月の廻穀殆んどなく本月に入りてさへ尙ほ遲々として目覺ましき出廻りを見ず爲めに米價騰落の時季に於て却つて日一日と騰勢の徑路を辿りつゝある奇現象を現出せり新穀の

◆出廻遲延は本年は收穫時期に於て例の惡性感冒の蔓延するに逢ひ殊に地方農村に於て其の甚だしきを見たる關係上精製の不能たりしに起因せるは主なる事たるが如くなるも此の外相場關係に依りて即ち先高見越によりて賣惜みの傾きあるも其の原因の一なりと云はざるべからず地方農家にして斯の如く相場に鑑み持米を手加減するが如き狀態に在るは又一より見て幾分農者の有福にして（ある）加減の餘裕なるを證するものなるは論を俟たざる處なり之等の

◆事情に相俟つて廻穀の遲延の原因を爲せる處なるも更に最も市今の出廻りに影響せるは現今の米價高なりとす即ち地方小農に在りては耕作費用の返濟等に必要なる資金は之を新穀の放賣に依り償はざるべからざるを以て從來殆んど其收穫の大部分は相場關係の如何を問はず直ちに賣り放したるものなれば本年の如く米價暴騰の高値にあれば普通假りに五俵の籾を以て返濟資金の調達に當てたるものも本年は

◆僅に二俵にて足れりと云ふ狀態となり傍ら前記の如く殘餘の收穫は左程賣急ぐの必要なく懷ろ具合の有福なる爲め殘餘の事情は最も昨今廻穀著薄を誘致せる先高を見越して躊躇せるが如き原因なるべし從つて眞の廻穀旺盛期は先づ舊正月前頃ならんと某米穀通語る（仁川）

◎慶北の繩叺
（下）慶尙北道の施設成績　慶尙北道技手　木谷愛次郎

（四）繩叺生產販賣組合の設置●臨時勸業事業として開催せる繩叺傳習會を修了せる者を中心として各主要地に繩叺生產販賣組合を設置せしめ以て繩叺の改良增殖を圖り檢査及び生產品の共同販賣等に關する一切の業務を施行せしめ斯業の改良發達を圖りつゝあり今繩叺生產販賣組合設置狀況を示せば次の如し

箇所	設立年月日
慶山郡	大正五年四月二十七日
永川郡	大正五年十二月廿五日
達城郡	大正六年十二月廿八日
（高靈、星山郡　同日）	
迎日郡	大正五年十二月廿五日
金泉郡	大正七年四月　五日
漆谷郡	大正七年五月　八日
尙州郡	大正七年五月十六日
靑道郡	大正七年七月　十日
慶州郡	大正七年九月　六日

（五）繩叺共同販賣成績●大正六年に於ける繩叺の販賣成績は販賣總數叺三十三萬三千八百五十四枚繩二十萬八千四百十二貫にして內組合及び其他の共同販賣に係るものゝ叺十八萬七千二百二十九枚此價格二萬一千四百四十圓……（繩の製造戶數七、五一八戶、同製造……）……一二三六個價額合計一四九、五三九圓也

（六）等級の一定　十九錢一厘繩十一萬八千五百六十二貫此價格九千三十七圓廿六錢一厘なり

（七）大正七年度繩叺製造豫定計畫　叺檢査等級の一定を期するは甲乙兩需要地方が繩叺を互に有無相融通する上に於て便利なるのみならず本道產搬出米豆の包裝の統一上利する所多きを以て各繩叺生產販賣組合とも次の等級標準に依り一定し併せて生產獎勵の資に供することゝせり

（イ）叺檢査等級は特天（米豆包裝用）地（雜穀包裝用）人（其他包裝用）にて（ロ）繩檢査等級は合格（米豆包裝用）不合格（其他）包裝用なり

◎漁期漸く終る
◆仁川近海に於る漁況◆

例年十一月を以て仁川近海附近の漁況は終了期に入るを例とせるが本年も亦此の月に入りて從業漁船の內地及び南鮮方面に轉稼する者多く仁川附近の漁況は俄に寂寥たる者となれり最も本年は氣溫頗る溫暖にして操業困難ならず十一月迄は自由に漁業に從事するを得たりしも何分例年よりも更に漁船の減少せるが爲め收獲甚だ少く著しく減少せり然れども魚價の騰貴に依り其の金額に於ては些の減額を見ず却て前年同期より見れば實に二千五百圓を增加せり十一月中に於ける漁船入航度數は內地船に五十七隻其收獲高三千八百五十圓

◆朝鮮船　九十八隻にして三千百二十八圓釜山其他よりの委託品は五千八百七十六圓に達せり之等の消費地は京城龍山に於て四割仁川四割其他の各地に於て二割の步合となれり最近漁獲の主なるものは鯖、鰯、鰆、鯛等種類は殆ど一定せるが價格は鯛百目二十八錢鯖十二錢海鰻十三錢鰆三十錢鯖十一錢鰯十六錢位なり（仁川）

◎漁場の入札
慶北迎日

慶北迎日郡漁業組合の專有に係る鯖巾着網漁場十八箇所は例年の如く去る十一月十七日之が貸下入札を行ひたるが其入札落札金額合計二萬六千六百廿八圓五十錢に達し前年度落札金高に比し實に二萬一千六百圓九十錢の增額を見たり斯くの如きは未曾有の現象にして其原因とも見るべきは鯖漁業の既往三漁期を通じ最も好況を以て終始したると客年十一月鯖漁業制限の結果一部漁場の數を減じたると他面に於ては又一般に豐漁を豫想し人氣鈍り居り此の如く良好なる成績を見るに至りたるものなるべく特に本期入札の際の如き鮮人當業者側に於いては殆んど熱狂的に競り上げたる由（大邱）

◎勞働者が皆無で
仁川に於ては荷役に支障を來す

近年各種事業の勃興に伴なひ鮮人勞働者の拂底は各地を通じての打擊とする處であるが殊に港灣に於ける荷役人夫の拂底は夙から本地方に影響を來たして居るのであるが最近仁川の艀夫並に陸上荷役の勞働者は著しく減少して昨今では殆ど荷役に支障を來たすが如き場合を生じ從つて各取扱ひ者間には

◇人夫を爭奪◇

的に召集する樣の弊害を生じて來て居る殊に出穀期と云ふので昨今は此前より餘程各方面に於て勞働者の必要を感ずる時季であるが加ふるに築港の竣成以來入港船舶も其數を增して最近では三隻或は四隻の船舶が港內の岸壁に橫づけして同時に荷役を行ふも珍らしくないと云ふ狀態であるそれ等の時へに遭逢した時には自然の數として人夫の不足は其の甚だしきを極める斯の如き有樣であるから人夫の方では橫著になつて

◇◇多少でもより善き◇◇

賃金を呉へる方の仕事に從事する傾向を現らす態度に出で使役者の方では一時間を爭ふ船舶の荷役は一人の多からん事を希望する關係上一圓は一圓五錢を仕拂ひ一圓五錢に對しては一圓十錢と云ふ具合に其の勞銀を釐上ぐる殆んど爭奪的の召集を爲すが如き惡弊を生じて居るこが爲め勞働者は益增長して

◇◇同じ岸壁の荷役を◇◇

賃金の如何に依つて東に走り或は西に赴く惡習慣を助長しつゝあるのである從來外港荷役の場合の如きであれば一度艀船に乘り込んで荷役に出掛けた者は假りに他の艀船に走らうが如きは不可能じあるが現在に於ては同じ岸壁での作業であれば容易に此方を捨て高きに就いて常なき行爲をなし得るので人夫等は益增加して

◇◇高く貪らんとする◇◇

傾向を生ずるのであるこれが爲め當業者は何等かの方策を講じ人夫の統一を計り荷役上の支障を除却するの必要を感じ或は組合を組織して常に善良なる人夫を顧る同時に供給するの方法を講ずべしとの議もあれど荷役閑散の時に於て之等多數の勞働者を如何にすべきかの難問題があるので其の實現には多くの困難が伴なふのである勞働當業者は此の勞働者の徹底人夫統一の問題に就いて苦心をして居るとの事である（仁川）

◎石油の高い時
電燈が點なくなつて
◆南安州市民は大恐慌◆　約束を履行せざる電氣會社

新安州に於ける大倉組經營に屬せる發電所廢止と同時に從來土地に發展する不夜城の觀を呈し居りし新安州並に北鎭市街等は全くの暗黑界と化し各市街に於ける夜間交通の不便甚だしく殊に石油は空前の暴騰にて市民の不便と經濟上に及ぼす影響少からず加ふるに新安州の如き朝鮮製鐵所始め各工場は動力無きため事業休止の已むなき悲境に陷り電氣の復活を渴望するの聲益々昂く大倉組に哀願するもの多きへあるに至りしが元來同組に於ては運搬事業及び發電機等の一切を同地株式會社に賣渡し契約をなし該發電機發動機の賣買契約をなすに際し兩安州市民の不便を考慮して從來の如く電燈電力を供給すべき條件の下に引渡せし等なるに未だ承繼社にては一向點燈する模樣なきことゝて市民は大いに之を憂慮し一日も早く電氣供給期日を發表されんことを要望しつゝありと（新安州）

◎清州を中心に
勃興せる自動車熱
忠北の奧地も縱橫に運轉す

◆三線出願◆　近時交通の發達に伴なひ市街自動車の往來運轉盛んなるが忠北清州を中心として清州槐山間、清州鎭川間の自動車出願者を見るに至り道路完成の曉は直ちに運轉を開始するに至るべし尙一面報恩沃川間の道路は豫定の通り進捗し本月末竣功の筈なれば清山の某實業家及び上田の楠本氏、報恩の吉武氏等共同經營にて自動車運轉をなすべく已に出願中なりといふ

◆賃金値上◆　既に清州鐵原間合同自動車部に於ては近時諸物價騰貴により經營に著しき困難を感じつゝあるを以て其筋に賃金値上出願中の處當局にありても種々の事情を考慮し調査中なるが各路に故障なくして目下許可の中なるも時勢に伴なふ影響として近く値上げを實行するに至るならん（清州）

◎東萊自動車
◆一日五回發着所より◆

釜山東萊間の自動車運轉出願中の處今回許可ありたるを以て試乘式を行ひ釜山驛前東萊方より午前八時と十一時午後は二時、五時、八時の五回發着しつゝあるが料金は釜山驛前を起點として釜山鎭驛前十錢、草梁驛前十錢、釜山鎭驛前二十錢、東萊南門四十錢、溫泉場十錢、通計八十錢と規定されたり（釜山）

◎日鼻がつきかけた
勞働保險法案
明年度から全國の工場課を
一齊に大擴張

百五十萬の勞働者の運命に至大なる關係を持つ勞働保險法案は內務省工場課が背負つて立つ準備中であるが前農相仲小路氏に依つて初めて一般に其の解決に染られた此案は、內閣成立と共に輿論の中樞となり山本新農相は輿論の潮先に乘じて愈四十一議會に

▼先づ調査費を要求す▲

べく既に閣議で決定したといふ、河合商省保險事務官と四條工場課長の談を綜合すれば『法案誕生の一要素たる翻譯は成就した、勞働者の專門の獨逸保險條令と下級官公吏及び小學教師を相手にする獨逸職員保險法は鐵道院保健課で英國の國民保險法と年金條令は農商務省で各國翻譯を了し此方面に就ての遺憾はないが立案の基礎となるべき國內の諸調査が

▲今尙は不整頓の狀態にある▲

是は各縣とも新時代的な工場課を閑に附した罪で全國二萬以上の工場に對し各府縣の工場監督官は僅に百九十九名で最も工場の多い東京が十一名、大阪が九名、兵庫が七名と云ふ數字で百九十九名中高等官は廿一名に過ぎない、而して全國各府縣の豫算合計は十九萬六千圓と云ふ

▼少額なため本年五月廿一日に▲

迄に提出する筈の大正六年の職工疾病の率が年末近い今日尙出揃はない、計數の進捗が此上もなく阻碍されて居るから大正八年度は全國の工場課に一齊に大擴張を加へ現在の監督官以外調査官を置き勞働保險法の基礎的調定を了し

▼一面、今回通過した豫算で▲

勞働保險調査課を設立し職工の危險率の調査、保險法案運用の研究のため高等官歐洲留學、保險法文の起草等の大業を起す筈である、現在の趨勢では傷害、老癈、疾病に對する健康保險と失業保險とが或は同時に發布を見る豫定らしく省內の意嚮は大體の見當で一日も早く法文を完成したいと云ふにあるようだ』

◎滿洲の朝鮮人村（四）
高句麗の舊地に逆戾りて
農耕に從へる鮮人一萬以上あり
此鮮人村に於ける種々の通弊

此の鮮人村の事に就ては既に回を重ぬる四回目となつたから大抵の所で切り上げ樣と思ふがコゝにモウ一つ二つ云ひ殘した事があるから記述して見ようと思ふ柳河縣は

荒蕪地尠くない
是れ等は鮮人の來り住して萬歲の山間の僻地ではあるが未だ〳〵開墾を要し耕作に適する其の頭上に加へられん事を待つて居るのであるからドシ〳〵と移住して行つて宜しからうと思ふ、只此處に注意して置きたいのは此土地の鮮人に

怠け者の多い事
である、例へば今年豐作で手取米が多かつたら來年は遊んで食ふと云ふ態度に耽りたがる通弊がある一寸案外の利益を得た爲め明日は仕事をしないでも宜しい位の考への者が多いから早三十年以上の歷史を有して居る今日未だ一家の經濟が裕福でない者の多いのは誠に遺憾である又是れと同時に

もう一つ大切な事
は彼等鮮人間に於て非常に訴訟を好む通弊がある事である例せば何か一寸した事があると直ちに訴訟沙汰に及ぶそして財產全部では濟まない借金の出來る丈け借金をしても訴訟を繼續する

訴訟と聞いたら
死にかけてゐる病人でも息を吹き返す位に好きだから堪まらない。又此土地の鮮人は口先が比較的達者で奇妙に屁理屈でも並べて得々たる風がある是れも彼等の成功を妨ぐる大なる原因であらう其等の爲めに

支那人から馬鹿に
される點が多いさうである、是れも何とかせねばなるまい、兎に角に柳河縣で生產し得る米は五萬や七萬ではない何分多くの生產を見る

餘地は澤山ある
で農作の改良種子の撰擇と相俟つて彼等鮮人の教育を盛んにしたら從來以上の成績を得るは決して難事ではあるまい唯此處に一つの問題は

日支間の交渉で
ある、此の鮮人の教育設備は事實に就き內地人が指導扶植の衝に當るのを支那側で好まない傾向が極めて著しいのである、是が解決さへ圓滿につけば至極結構な事だらうと思ふ（了）

◎漸く安堵す
地方の惡寒冒が終熄して　一時は憫ぶべき慘狀

近頃忠北警務部に於て調査せる忠北道內各地の感冒罹病者及び死亡者は左記の通りなるが中にも最も猖獗を極め殆ど戰慄すべき慘狀を呈したるは報恩郡にして總人口六萬六百四十二人に對し罹病者四萬六千六百五十九人に達し殆んど三分の二強の比例を示し慘禍至らざるなく次に槐山郡は人口五萬二千八百八十二人に對し一萬九千四百八人の患者を出したるが如きは如何に同地方が激甚なりしかを想像するに餘りあり中に最も僅少なりしは堤川郡にして人口六萬五千六百五十五人に對し四千七百九十人の罹病者に過ぎず約十分の一なるは被害最も輕き地方とす今本道內に於ける鮮人罹病者十五萬三千六百四十四人とは驚くの外なし內地人は一萬一千七百九十人にして死亡鮮人一千六百二人內地人十三人の率を示したり最近漸く終熄に近づき一般愁眉を開きたる模樣なり（清州）

◎悔の云樣が
氣に入らぬとて
◇佛前で散々に袋叩き◇

兼二浦三菱製鐵所職工福岡縣八女郡花輪村生れ高瀨仲二郎（二五）は之れも三菱の同職なる齋藤某の女の兒が病死したるより通夜のため同家に赴きたる所來合せたる同職なる下田勉の悔みの言樣が氣に入らぬと飲酒の上兩人にて勉の頭部面部の嫌ひなく毆打し疾病休業三週間に及ぶ負傷をなさしめたる廉にて兼二浦駐在所に引致さる（兼二浦）

◎網を被つた強盜
◆オモニ〳〵と揺り起し◆　靑龍刀の樣な朝鮮式の庖丁で

平南江西郡水山面可生里農姜在英（三〇）方へ四五日前の眞夜中年齡三十歲位にして頭に手拭を卷きつけ顏に網を冠れる一名の鮮人男の強盜押し入り『オモニ〳〵（おツかア〳〵）』と揺り起しつゝ自己の所持せる燐寸を以て同家のランプに點火し主人の實母崔姓女を呼び起し金錢を出せ若し出さゞれば殺害すべしとて靑龍刀の如き朝鮮一流の大形庖丁を首に當て脅迫して簞笥の錠を開かしめ銀製小刀此價格十圓及び現金一圓二十錢を奪ひ其儘逃走したるが目下犯人嚴探中なり

◎博徒狩
兼二浦にて昨年來博徒の首領株と目され居りたる茶谷外八名の博徒を兼二浦駐在所に逮捕して取調中の處常習犯として愈々平壤地方檢事局へ送らる（兼二浦）

咸興（二）
▲水道●　咸興上水道工事は引續き淨水場及び取水場の地均工事中なるが水栓番住宅の建築は既に大組を終り取水井戶の片桝亦目下組立中なるが來月に入らば結氷の爲め工事は一時中止せざる可らざるを以て年內に於て前記淨水場及び取水場の地均工事及び水栓番住宅の建築を落成し其他は一時中止して來春に於ける工事の諸準備をなすべしと▲稚蠶共同飼育事業の狀況　咸鏡南道の調査に係る最近道內稚蠶共同飼育事業の狀況左の如し　飼育所百六箇所、飼育戶數二千五百四十七戶、經費四千五百九十四圓內二千四百圓は道地方費より之を補助し掃立枚數二千七百五枚を以て五百八十二石の收繭あり蠶種一枚當り二斗一升五合にして共同者一戶當り收繭二斗二升九合なりしと

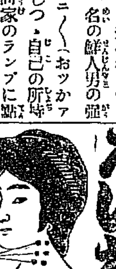
戶口數（本年十一月末調）

內地人	三、〇七九	一三、三〇八
朝鮮人	一〇、八四八	四八、四一五
支那人	一五五	六一五
米國人	二六	八〇
佛國人	一	一
加奈陀人	一	一
合計	一四、七六〇	六二、四二〇

（二等以下合格者氏名）……一太郞、角田武雄、……仁、同セン、內海輔、木原三郞、西山香二、田口ミエ、平野市□、高橋平十郞、和田吉五郞、大□、稻□、谷村近之介、山崎貞造、市山□夫、五島源治郞、本又見、佐木トラ、同ハル、松田敬□、橋本□、高田國助、一瀨兵二、山本□治、松□、高田又四郞　二等（十八名）川口末次郞、橫井忠造、關口美雄、西山小太郞、石田健一郞、沼田□、□川一男、□□武吉、須藤□一　外人一名　三等（六十四名）石田□、同つゑ、花野□、大井秀一、今村勤三、同ゑん、金子□下、同あさ、高田國雄、岩瀨睦子、……

晴曇　前日最高溫度　前日最低溫度……

▲美味なる　虫下し最良藥
定價　五錢●十錢●廿錢●五十錢
岩崎大海堂セメン菓子
美味なる　▼虫下し最良藥　登錄商標　開運セメン菓子　本舖　大阪天王寺鳥居前角　岩崎大海堂　▲內外藥店にあり
效能　蛔虫諸症疳蟲蟲熱　夜泣の蟲。乳あまし　蟲腹痛み。疝熱の蟲　蟲胸惡く。勞熱の蟲　蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なるにせ物續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

るいれき


病グリグリ出來て困難の處拔群の效能ある稀代の良藥によりキラズ全治せり助けの爲め二錢切手封入申越の方にスグ詳報す　播州明石相生町　橫山家本邸

登錄商標　毛を黑く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙　本舖　大阪西橫堀　三宅堂

各種帽子附屬品卸　大阪東區京橋三、但天神橋南詰東　樽本商店　電話東一貳九一　振替大阪四一七三六

一番ヨクキクかぜねつくすり藥　蛇印　アンチピリン丸
▲特長　◎最新高貴藥の配伍　◎絕對に副作用なし　◎胃中に溶解し易し
▲主效　■感冒、ネツ　■インフルエンザ　■頭痛、齒痛　■リウマチス、オコリ
▲藥價　十錢、十五錢　廿五錢、五十錢
本舖大阪東京　丹平商會　賣捌は全國各藥店

登錄商標
たんせき　ぜんそく　見る間に切れる！
嚴寒となつてたんせきぜんそくが愈々流行しました、普通の風邪心地がたんとなりせきとなりぜんそくとなると最早油斷はなりません、捨てゝおくと肺炎、肋膜炎等に變じ遂には肺結核の原因ともなります　永年痼疾のたんせき、ぜんそくの人は勿論、本年始ての人も早く龍角散を服用なさいませ。

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人、子供にも適し、服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ、咽喉の苦しみを除き、數年頑固のたんせき、ぜんそくも漸次根を絕ぐやうに自然と快癒せしむ。
かゝる人は必ず試みよ
◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
◎せき頻に出で夜中オチオチ眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎百日ぜき又ははしかせきの小兒
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人
定價　三日分　一週分　二十錢　四十錢　二週分　一月分　六十五錢　壹圓卅錢　送料無料
本舖　東京市神田區豐島町　藥劑師　藤井得三郞　電話神田二〇七八　振替東京九一〇一
取次　全國各藥店にあり本舖へ御注文は振替又は爲替及切手代用に御注上候

商況

東京株式特電

六日前場 寄付 止め

東京現株中値

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

兵庫期米特電

下關期米特電

雜報

正米安含み

正米は定期安と糯米筋の一齊買控に一服狀態りを呈し昨午後に至りて

一圓安唱へ 引續き軟弱含み

手の附口は矢張一昨日に比し九十錢より一圓安の見當なりしも入は此勢手放し氣れ居れるもの如く午前中は殆ど商内行はれ

又漸次に出穀增加の兆候

されば確たる標準建ち難く昨今沿線地方は不引合高値よりの廻米も多からざる折柄にて眼先成行きの觀測も區々なるが昨今京釜沿線中平澤始興川に於ける各驛の輸送米は頗る激增し其他の地方又漸次に出穀增加の兆候あり

籾の出廻り來らん

糯漸次上向

益々氣配高し

小賣値段或は四十六七錢

雜穀不進捗

品薄の爲め

元山方面へ出荷

染料手堅し

有力筋の破綻

惡影響與へん

案外落付

英油近く入荷

需給上の緩和

下關相場

各地商況

釜山市場

京城正米市場

仁川正米

生魚市場

仁川期米

六日前場 (强硬に保合)

二十五錢と九錢 高寄付先三十圓

新規の賣物現る

園仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話…

市場雜觀

今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話…

頭重く軟派の防戰にて 相場は大餅搗

仁川米豆取引所

六日の二月限

北濱たより

株不安人氣

唐澤正次郎

期米賣買ご案內進呈 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長六十五番

砂糖株

白米小賣値

三十九錢
三十八錢五厘

卅六番角力

毛谷村六助 八十一席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

後藤又兵衛其次の主君、黑田官兵衛孝高は暫く筑前名島に於て八萬石を頷して居りまして、子息吉兵衛長政、官兵衛は後に勘解由次官と云つて、吉兵衛長政は後黑田甲斐守と云つた人、其の時は未だ八萬石の小身、隣國の中津岐井谷と云ふ處に十二萬石の領主で岐井谷安藝守友房といふ諸侯がありました、此の人は大友宗麟の子息、黑田家は八萬石、岐井谷は十二萬石素より孝高は中津岐井谷を目かけて居る、何うぞして岐井谷を領地に加へようと思ひまする、只嶮を一ツ隔つて居るばかり、然れど猥りに軍を出す譯にはなりません、何かあつたら隙をつけて安藝守を仆し領地を據けようといふ心底、吉兵衛長政も油斷なく樣子を窺つて居ります、領分の境些かの爭ひよりして遂に軍馬を向けて戰ふといふ事になりました、然るに安藝守友房は今年三十七歳壯の人でございまする、殊に軍備も充分に整つて居りまするから、却々孝高や長政の意に應じ和解をすると云ふ事はございません、是も軍馬の用意充分でありますから遂に合戰になりまして、出入りの三年の間に十一度矢合せをいたしました、戰爭といふものはそんなに澤山出來るものではない、川中島で十八年信玄と謙信が弓矢を爭ひましたが、それでも大きな戰ひは四度、跡は小ぜり合が三十二度でありました、三年の間に十一度の戰さをいたしましたのは決して其の數が少いとは申されません、處で十一度の戰ひを九度まで黑田父子の同勢は破られました、何で破れたといふに安藝守の家來軍師を勤めて居りまする、傳法寺兵庫國廣といふ老人がある、此者槍を取つて戰場の働きを爲す時には虎の如く、居ながらにして采配を採り敵を惱ます段に至つては孔明、楠にも比する位實に兵學を能く修め謀略を帷幄の裡にめぐらし、勝つことを千里の外に決するといふ位の人物にて、斯時此の兵庫が居るばかりで其の計略に陷るから、茲で黑田の先手の同勢は破られる、黑田の重臣菅六之助、黑田三左衛門、後藤又兵衛、栗山備後なぞといふ諸士が協議をして、此の上戰ひをすれば領民を苦しめ、それが爲兵糧を失ひ穩かならんことでありますから和睦を爲ようといふことになつた、此の事を岐井谷の方へ申し入れると、安藝守も承諾をしたので、乃で安藝守は幸ひ無妻でありますから官兵衛孝高の娘廿歳になる八重姫といふ美姉があります、此の者を安藝守の奥方に直し是を證として和解を申し込まれました、處が安藝守は黑田家より申込まれたに依つて三年間應戰いたし勝利を得て勢ひ破竹の如く、然るに黑田より和解を申込まれ、八重姫をお貰ひ取り下さる樣にといふ使者が立ちました、八重姫は隣國へ聞ゆる美人であります、安藝守は疾て聞き及んで居ります故臣等一同を評議をいたしまするに、先方から和睦をいたした方が宜しい、是は和睦をいたしまするに、先方から和談を申込まれるのは何よりの事、殊に聞き及べる美女八重姫をお貰ひ取りに相成るは至極宜しうございまするこ老臣一同申す中に傳法寺一人は「兵庫それは御無用になされたがお宜しうございます」と意見を申し上げたが、何分にも安藝守は此の八重姫に見ぬ戀にあこがれて居りますから是非貰ひ受けたいといふ、それならば何も罪を好んで兵を殺し領民を苦しめるにも及ばんからと、傳法寺兵庫も是に同意をした、纏まる縁は早いもの、昨日は敵、今日は味方ひを爲し、今日は喜びの酒宴を開くといふ樣な事になりました、公然婚禮の式を擧げるといふことにはなりませんが、八重姫は岐井谷へ嫁付く事になりました。

平壤こ煙草

清美液

皮膚の美人こ成るには 一名あれしらず 定價金… 到る所の化粧品店・藥店にあり 發賣…

繩叺製造獎勵

京城の名物 カフエータイガー 洋食こすき燒

電話賣買 萬年社

京城明治町一丁目 電話一八四四

十二月八日

靈感術 通信傳授

▲治病、豫言、透視透覺の▲應用自在
▼誰人にも能く分りて▼人親授の
▼全部フリカナ付の▼修了者は
▼筆記秘錄を送りて自修せしむ

◎修了者は證書を與し優秀者には公衆施術を認許す 支部長中より選任する事あり

大特典 此際入會金を全免し會費を特に三割引きす 會則…本新聞名を記し申込ば進呈 東京日本橋區吳服町十二 稻葉大靈會本部

演藝案內

壽館

有樂館

黃金館

大正館

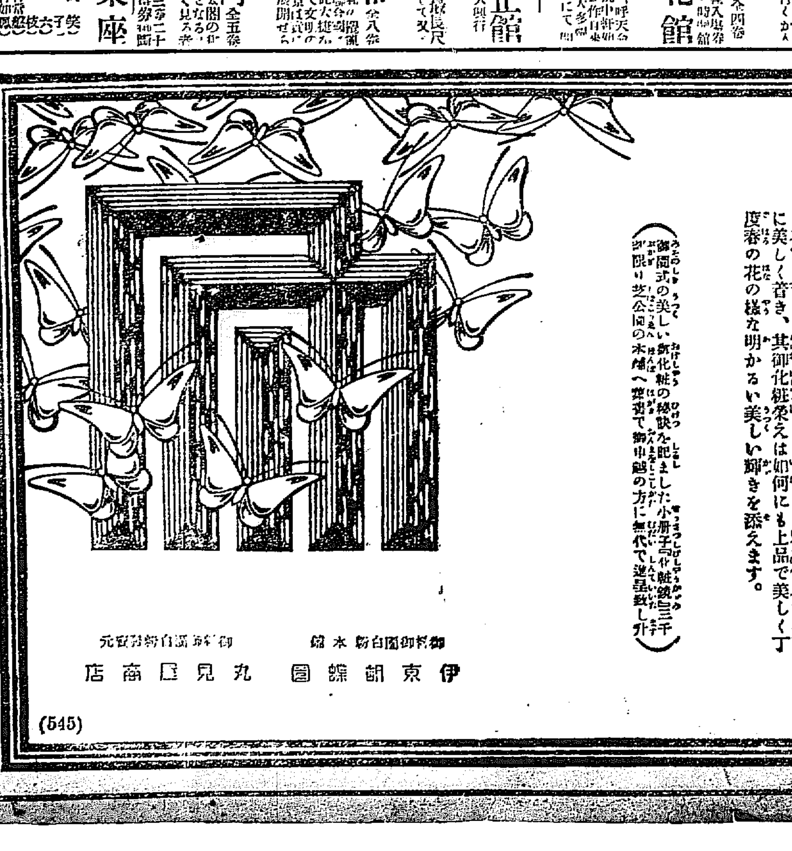
浪花館

世界平和

曾呂利新左衛門

文樂座

本町五丁目 電話三三八



どのやうに寒くなつても

化粧水 御園四季の花

朝夕の御顏洗ひの後とか又は御風呂を召した後で顏と手先にお塗になつて置きますと、何な荒性のお方でも決して皮膚の荒れる事がなく何時も艶々した美しさを保つ事が出來ます、こうして皮膚を整つて置きまして、其上に

御料 御園白粉

をおつけになりますと、御園白粉のノリとノビとは一層よくなりまして、誰方の皮膚にも濃くも淡くも思ひの儘に美しく着き、其御化粧栄えは如何にも上品で美しく丁度春の花の樣な明かるい美しい輝きを添えます。

(御園式の美しい新化粧の秘訣を記しました小册子「化粧鏡」三千部限り芝公園の本舖へ御申越の方に無代で進呈致します)

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園

御化粧御園白粉發賣元 丸見屋商店

(545)

第五版

…[illegible]勢を放ちつゝあるは婦人候補者に[illegible]る候補者は內外の名聲に上りホー[illegible]ブ夫人の如き前首相アスキス氏を[illegible]向[illegible]實現せんとするに熱心なるかを窺知するに足るべし婦人が下院議員として實際如何程の立法的力量を[illegible]

▲世人の期待 に背かざ[illegible]なれば米國の婦人議員と[illegible]政派の如何を問はず何れも主義上[illegible]の政策、男女同權及び工業の組織等にして是等政綱に就ては政黨[illegible]

▲根本的見解 を異にする所にして戰時政府の手に於て是[illegible]選擧は普通選擧にして一般有權者[illegible]も助からざれば到底議員界の大勢を左右するに足らざるも今回の[illegible]するも尠くとも百名內外の議席を獲得するやも知るべからず殊に現政府に對する勞働黨の[illegible]れる勞働大臣ロバーツ氏[illegible]にして現政府と行動を共にせば[illegible]ホッジ氏等は如何なる態度に出づるか判明せざるも追殺ウェールズ[illegible]相ロイド、ジョージ氏及び同氏を中心とする進自由黨と統一黨との[illegible]を演出せずとも限られざる[illegible]

京城日報

（購讀料）壹部参錢▲壹箇月七十五錢▲郵稅拾五錢▲壹箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增
（廣告料）五號十五字詰一行一圓五號同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢同六號十七字詰一五
編輯兼發行人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
（電話）編輯局六千九番一 六千九番二 營業局 三六千九番三 六千九番四 振替貯金口座京城三〇番

京城日報 反動來に備へよ（下）

六

上述せる所は外部より襲來する反動の勢力なるが、更に內部に起るべき一波瀾あるを看過すべからず。即ち金融關係是なり。元來戰時中に於いて我經濟界が無前の好況を呈したるは、前に述べたる事情に依ること雖も、其の裏面には政府の奬勵もあり、又我金融機關が新興工業及び輸出業に對し、最も寛大に且つ諸種の便利を與へることが、與りて大いに力あるものなるが、平和克復後に至りても、政府並に各種の金融機關にして、依然として從前通りの政策を維持するならば、此の方面より格別の影響を起さゞるべしと雖も、一時の機會に乘じて興りたる、而も基礎の薄弱なる事業に向つて、無檢束に資金を融通するが如きは、戰時中の獨占たる場合は格別、既に競爭者の現はれ、又は現はれんとする[illegible]に於て甚だしき危險たるを免れざれば、いづれ大なる警戒を要すべきことならんと思はる、經濟界の血脈たる金融に於て、一たび破綻の口を緊括するに至らば、之がために徒手に斃るゝもの、必ずしも他の競爭の來るを待たざるべし

七

吾人が最近接手したる報に依れば、我經濟界の中心たる阪神地方に於いては、既に此の傾向を現はしたるが如し。曰く好景氣の絶頂を過ぎ、下り阪の傾向ありたる內地事業界は、休戰に依り一層其勢ひを強めたるものの如く、殊に從來英米等各列強が、輸出を嚴禁し居りたる鐵材其他化學工業藥品等に對し、輸出緩和策を採るに至りたることは、我內地に於ける是等商品市況に大打撃を與へ、時局以來內地金融市場が著しく緩和され、極度に資金融通の途開けたるため自己の資產を省みず、信用擴大を利用して、無謀に手を擴げ、商品の思惑買ひを試み居りたるものに對し、一層打撃の程度甚大なるものあり、當地財界に最大關係ある綿絲其他綿製品の如きも、平和的近氣構へにて、米印棉相場の大暴落を演じ、米棉は高値より十仙以上を低落し、印度棉相場亦一時九百留比臺の高値まで奔騰せしブローチが、五百留比臺に急落したる影響を受け、三品市場は過日の高値より、既に百圓以上の激落を來し、遂に三百圓臺を割りたること、綿絲關係商人中に此値下がりに依り、非常の窮地に立つに至りたるものあり、從つて時局以來財界好景氣のため、不渡手形の如き非數非常に減少したりしに、最近に至り、是等商品暴落のため、資金の融通に困難を訴へたる商人中手形を濫發し、不渡手形に變ぜんとするもの漸く多く、海運界の一部には、既に一口百萬圓の不渡手形さへ發行されたる由にて、信用の大膨脹を來したる今日に於て各銀行とも俄に手を引縮むるに於ては、財界に如何なる波動を及ほすやも圖られざるを以て、各行とも其貸出に警戒を加ふる一方、不渡手形を發行したる者に對しては、最善の方法を以て整理に努め、成るべく損害を少からしめんと試みつゝある模樣なるが、銀行業者は何れも今後に於る商品市況に對しては、深甚の注意を拂ひ居るものゝ如し云々と。此報にして果して眞ならしめば、阪神地方は、既に反動の影像を認むるに至りたるものといはざるべからず。

八

朝鮮は中央市場と稍隔離せる關係に在り。且つ戰時に際せる特別の施設頗る乏しきを以て、內地程には大なる反動を受けざるべしと雖も、而も到底其の餘波を受くるを離する能はず。貿易に關係ある者はいふにも及ばず、一般商工業者も豫め之に備ふる所なかるべからず。

現下の社會問題（四）

內務省囑託 留岡幸助氏講演

近年滋賀縣奈良縣等に於ては特殊部落に對して北海道へ移住することを奬勵して居るが、彼等は斯う云ふ處へ行けば生活の安全に出來る樂土があると話て聞かせても容易に肯かない、種々に補助の規則を設け大努力の結果漸く毎年五戶十戶多くて二十戶位しか移住しないさうである、併し單に特殊民に限らず

▽日本人全般 に異なつた土地へ出掛て新天地を開拓しようと云ふ敢爲の氣象に乏しい、たまく外國へでも出ると動もすれば文明國民としての日本人の體面を汚すが如きことをやる。茲に於て如何なる國で排日を喰つて益々世間が狹くなると云ふ次第である。然ればと云つて是は唯海外へ出て行つた者のみが惡いのでは無く元來我國民全體に亘つて世界的な際に必要な文明國民としての教育が缺けて居るからだと思ふ、所謂鄕に入つては鄕に從はなければならぬと云ふ觀念が薄い、外國へ行つても其土地の

▽人情習慣に は一[illegible]構ひ無く、大道で腿を露はしたり尻を捲くつたり人道があるのに車や馬と一緒に歩いたり、至で百姓が鍬を舁いで田舍道を行く樣な按配で何處でも遠慮なく日本式を發揮する、又布哇の在留邦人中には帝國在鄕軍人とかの看板を掛けて居る者もあるさうだが是等も場所柄を考へ物ではあるまいか、這回聯合國共同して西伯利に出兵したに就ても、日本の兵隊は露西亞人から煙たがられる氣味がある、夫かと云つて我軍人が特に彼等を苦しめるのでも脅かすのでも無いが私の聞いた一例を話すと

▽或る地點で 日本兵が割木を割つて居る處へ一人の露國人のお婆さんが近寄つて、其居る片を恐々ながら拾つて居ると、丁度日本の士官が廻つて來て兵隊に向つて『オイ、彼の婆さんに少し薪を遣れ』と命令した、すると一兵士は靴の先でコーンと割木を蹴つてお婆さん目がけて跳飛ばし『コラ持つて行け』と云ふとお婆さんは默つて夫を抱へたなり逃げる樣にして歸つた、と云ふことであるが同じく物を與へるにしても今少し愛嬌を撒てやつたら何うかと思ふ。又私が先年クルージャンと云ふ獨逸人を訪問の爲京都ホテルに赴くと或一室に英蘭人（蘇格蘭人であつたかも知れぬ）の男女三人が暖爐を圍んで

▽賑かに談話 に耽つて居る傍に、京都府の判任官らしい人が椅子に凭れて七分三分に傾斜させて非常に氣張つて居た、其處[illegible]が這入ると英蘭人の一人が彼に向つて『彼の人は何故六ケ敷い顏をするのですか』と質す私は唖然としたくなつて『別に理由はありません、畢竟彼の樣な流儀の人でせう』と答へたことがある要するに排日問題等の起るのは外國人に度量の狹い處はあるにしても日本人にも亦全く責任が無いとは申されぬ。

◇夕靄　石田富造筆

米國海軍豫算

千九百二十年に於ける米國海軍豫算は二十六億餘弗なりしが十四億餘弗に減額せられ次いで又十二億餘弗に減額せられたりとの報道あり而も海軍卿ダニエル氏は既定の海軍計畫は依然中止することなき旨を述たり米國海軍豫算が斯く減額せられたる理由は主として戰時中增員せられたる人員の減少に依るものと解せらる即ち米國海軍の定員は十三萬一千にして戰時に於ては之れに五萬を增加することゝなり居れるが米國海軍は右法律に依りて定められたる人員外豫備員として約三十二萬の人員を收容し居れり是等の人員中定員の十八萬一千は各艦隊乘込員なるが他は沿岸警備の艦艇に或は武裝商船の乘員に又は輸送警備等の任務に服し居たるものにして是等人員の爲めに要する經費は莫大にて初度調辨費のみにても約二億弗を要し維持費として支出を要する兵器彈藥被服食糧等も又巨額に達すべく是等豫備人員は戰時行動の終了と共に復員するなれば千九百二十年の豫算より以上の人員費を控除する時は減額改定せられたる額十二億餘萬弗を以て既定の海軍計畫に何等の影響なく米國海軍の擴張は施行し得べき計算なりと

湖畔より（二）

貝加爾 從軍記者 金谷眞

◎西伯利亞の露人を救ふのは銃の力もさることながらパンや著物の援助も亦必要である、今西伯利では金はあつても物資がなくて困つてゐる、別れる時日本語が上手なことを褒めて見たら『日本語が今に世界語になりますから……』とニコ〳〵して往つた。氣溫は華氏の零下八度空は相變らず陰鬱で雪は依然としてチラ〳〵降る。われ等の汽車は凍りついた山や野や河を走つて行く、山には相變らず亭々たる赤松が見ゐる、日は午後四時頃から暮かゝつた、その間寒い西伯利の夜となつた、ペトロフスキーザオードといふ驛に著く、此の附近には鐵鑛及び石炭を採掘する處多く驛の東南方三里程の鐵鑛山は有名なものである。此の地には官立の製鐵所があつて設立以來損失相踵ぎ一時作業を廢止して居たが歐洲戰亂以來再び事業に着手したやうである、製鐵所の設備は彼得大帝時代の舊式のもので有るが木炭精鍊であるから立派な鐵が出來るといふ、這回哈爾賓の各鐵工所は露人と契約して此處の精鐵を購買したさうであるが今後相當に搬出される見込みであるとか、また石炭は此の附近タラバガダイ驛方面にある、その他後貝加爾鐵道チェルノーフスキー驛附近ザミヤーチン炭坑及び第一チヂンスキー炭坑等方々にある、採炭は主として鐵道に用ひられる坑夫は約二千人位、採炭量は總額ざつと一千二百萬布度（一布度わが四貫三百六十匁）であるといふ成程鳥蘇里線や黑龍鐵道では薪ばかり用ひてゐるが後貝加爾に來てからは遙かに東方のネルチンスキー方面から石炭を用ひてゐる序に後貝加爾の鑛業としては金、銀、鉛、鐵、硫黃、雲母、アスベスト、寶石等の類で就中金は州全體で一箇年二百五十餘布度、採金所百八十餘を持つてゐる、その中ネルチンスキーが最も多く此の附近ではバルグジンスキ郡及び貝加爾湖の北方、ボダイボ金鑛は有名なものである

史と傳說（校訂 嚴迎）

史上に現れた怪談（五）

廋信は單身老人の言に從つて馬を求むるべく山陰縣に行つた、處が山と山の間で四方には人家の影も見ゐぬ、其處で大樹の下で憩ふて居ると忽ち一隊の兵隊が現はれて此方に進んで來る、其中に二人の大將らしい者が居る、却々豪傑らしい、此の又一隊は盜賊の群であつた、賊等は廋信の膽力を見て敢て進んで來ぬ、すると大將株の豪傑は憤慨して、『吾等五十人が唯の一人に追はれては面目にも係る』と早速山を楯にして列び、矢を飛ばする事雨の如く、廋信は大に危險に陷つた、處が忽ち又甲冑を著た一隊の兵が、空中より降つて來た其中に一人の王があつて、玉冕龍袍車上に端座し、威風凜々手に劍を握つて、大聲賊を叱咤した、其猛烈な勢ひに賊等は恐れて逃げて仕舞つた、大將株の二人の男が地に伏して降服の狀を示すと、王は廋信を呼んで、汝は吾を知るか、吾は汝が曾州仇衛王である、其陵が此山にあるから、茲の土を鎭して居る、今汝が賊に圍まれて危殆であつたから、神兵を率ゐて救ひに來たのである、と云つた、之を聞いた廋信は地に伏して感泣した王は又た、吾賊將二人を見るに何れも豪傑である、汝は親しく彼等と交友せよ、且つ吾弓と劍が陵殿の下の水晶石の函中にあるから汝に與へる、と言ふかと思ふと王の姿は見えずなつた。廋信は其處に居た二人の豪傑と名乘合て見ると一人は元甲原、一人は柳鏡惕と云ふ賊の首領であつた、此處で親交の約を結び、弓と劍を尋ぬべく陵所に向つた、途中咆哮の聲が聞へたので廋信は大に喜び、之は必ず猛獸の聲であらうと見て居ると、一匹の駿馬が大澤の上を馳せて來た、人々が捕へようとするけれど却々手にをへぬ、廋信が成る程之れは澤龍の化身に相違ないと考へつゝ、身を飜して飛び乘ると、馬は疾き事風の如く、尋常の駿馬でない事が明つた、而して之を雲驄と命名した。茲の邊は何だか、水滸傳か三國志より來て居るらしい、努めて奇々怪々を現はした處に妙味がある。

新年詞壇募集

漢詩『歲朝晴雪』（五言律）『新年雜興』（七言絶句）或ハ（五言排律）
短歌『朝晴雪』一人三首以內
俳句『初東風』一人三句以內
（注意）締切十二月十五日、用紙半紙型 京城日報社編輯局新年詞壇宛投稿の事

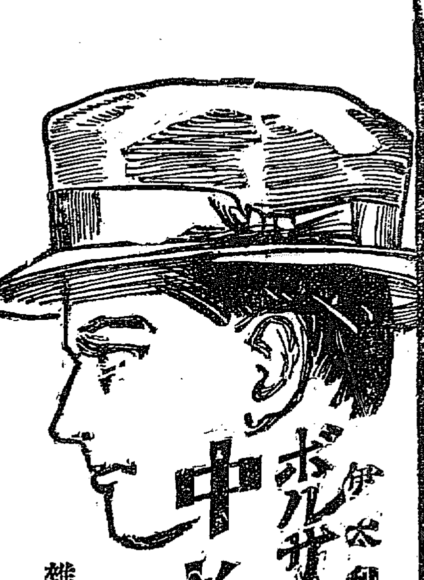
大募集
一人生一代 運命開拓法 何人も見よ各自天職の指導大運中運一度は命數病氣快復及運命轉換法を報導す此際 米國式成功法 立心一成功望人は端書にて申込次第冊本送呈
東京本鄕區湯島四丁目 神誠館

自動車
本校卒業生愈々不足收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送 運轉手技師販賣員
東京市京橋區 東京自動車學校
大阪市西區市岡町右 大阪講習所

籤引景品附
歲暮大賣出
十二月五日より三十一日迄
籤引は金壹圓毎に景品券一枚呈上
即時店內に於て景品と引換可申候
景品は特等以下空籤なし
Ⓗ 京城本町一丁目 平田商店
電話六九五番三一八番 振替口座京城一〇八三番 京城局私書函十三番

日本百科大辭典購讀會員募集
◎編修總裁 大隈侯爵・分擔執筆者當代之碩學大家五百卅名（全部十卷）・各卷會費拾貳圓
萬有の智識整然として玆に集り古今東西の事物一として網羅せられざるはなく眞に世界的百科辭典と稱し得べきは洵に本書を以て嚆矢とす本書の一部を備ふれば群小數百の圖書を備ふるより其効果絶大なるべし
會員には第一卷より每次配本 會費拂込方法は一月賦若くは一時拂
入會規則書幷內容見本は御申込次第送呈す
申込所 東京市牛込區新小川町二丁目四番地 日本百科大辭典普及會 電話番町四六七五 振替東京五〇〇〇番

新版
帝王敎育思想史
名譽樞密行政顧問 伯林大學敎授 ヴィルヘルムミュンヒ原著
東京帝國大學文科大學敎授 文學博士吉田熊次校閱
文學士 西田宏紹述
著者は敎界の耆宿、嘗て伯林に於て開催せられし列國史家大會の席上に於て講演せし所を修訂して本書を選す、遠く範を希臘の初期イゾークラテス、プラトーン、アリストーテレスに起し聖アウグスチーン、フリードリッヒ大王、ライプニッツ、アルントを經てマッセンバッハ大佐、アウスピッツ將軍に至る迄數十人の所著皆く斯道歷代の權威を解說批評し更に大獨逸皇帝敎育の背景を爬羅剔抉す、譯者は精細原著を紹述し終つて更に局面を擴大し帝王敎育、並にこれと唇齒相依る臣民敎育、子女敎育に關する古今東西の文獻を類聚し斯道の學說を創定して玆に天上至大の事業を了へ、その點時を背く同胞に托し入魂を後昆に俟つ、時方に高秋、草木黃み落ちて萬有漸く內面的作業の時季に入る、爲政家、敎育家、特にその倫理修身科擔任、並に皆く華胄、豪族志國士の默讀研究を促す。
【內容一班】（緒論）◆興時代の帝王敎育思想◆古代の帝王敎育思想◆中世の帝王敎育思想◆人文主義及文藝復興時代の帝王敎育思想◆第十七世紀の帝王敎育思想◆第十八世紀の帝王敎育思想◆第十九世紀の帝王敎育思想◆現代に於ける帝王敎育の諸情態◆現代に於ける帝王敎育の諸任務◆考證◆ミュンヒ小傳
◇菊版千五十頁（天金函入）◇定價金八圓送料廿四錢
發兌元 東京市麴町區平河町五丁目 洛陽堂 振替東京一〇九一四 電番町四一五八



伊太利 ボルサリノ會社 中折帽子が着きました
雜貨店帽子店吳服店にて御撰擇を乞ふ
輸入元 大崎組商會雜貨部

法人登記
伊川金融組合登記事項中變更
大正七年拾壹月九日臨時總會ノ決議ニ依リテ組合ノ目的ヲ左ノ通リ變更ス
一、組合員ニ對シ其經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ生產上必要ナル材料ヲ組合員ニ賣付若ハ貸付シ又ハ組合員ノ爲ニ其生產物ヲ販賣スルコト
四、組合員ノ委託ニ依リ其生產物ヲ保管シ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト
五、組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト
六、朝鮮殖產銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其業務ノ媒介ヲ爲スコト
七、地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
理事木下齊ハ大正七年拾壹月貳拾五日辭任シ同日江原道伊川郡伊川面泉岸里參百參拾七番地山田繁一理事ニ就任セリ
右大正七年拾貳月四日登記
京城地方法院伊川出張所

法人登記公告
華川金融組合登記事項中目的ヲ左ノ通リ變更ス
一、組合員ニ對シ其經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト二、組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト三、組合員ノ爲ニ產業上必要ナル材料ノ貸付若ハ共同購入ヲ爲シ又ハ組合員ノ委託ニ依リ其生產物ノ販賣ヲ爲スコト四、組合員ノ爲ニ其生產物ヲ倉庫ニ保管シ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト五、組合ニ加入ノ資格ヲ有スル者ニシテ組合ニ加入セサル者又ハ組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ預リ金ヲ爲スコト六、朝鮮殖產銀行ノ業務ノ代理又ハ其業務ノ媒介ヲ爲スコト七、地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
右大正七年拾貳月參日登記
京城地方法院華川出張所

被服廢品拂下入札
古品外套外四拾九點
右賣却ス詳細ハ十二月七日、八日朝鮮總督府官報及當隊本部揭示場ヲ見ヨ
春川憲兵隊本部

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服、外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
特製品長トンビ大小高價物婦人コート詰衿折衿洋服
和洋古衣服類各種
右多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目 金子與市商店
電話長一〇五番 振替口座京城三八一三

◇對露援助要求

露國過激派の最左派を除く外各黨派の代表者ミリューコフを含める露國委員は聯合國が露國改造の爲め迅速なる援助を與へん事を聯合國公使に要求する所ありたり(奉天電報)

◇反過激派軍現る

最近露ブスコフ一帶に將校學生學者階級より成る優秀なる反過激派軍隊現はれドラゴミロフ將軍該軍隊を中心として新軍隊組織中にて勢ひ侮り難く尚レデウリに於ては獨兵と露國勞働者の間に激戰中なりと(哈爾賓電報)

◇過激派彈藥缺乏

土耳其斯坦の過激派軍は彈藥缺乏の爲め非常な窮地に陥り居れり同國の壓迫は日に急なりと(哈爾賓電報)

◇廣東政務會議決議

十一月三十日廣東軍政府政務會議は左の件を議決せり(上海特電)
一、講和會議代表者は南北各三名を擧げ國會の同意を求め委任する事
二、南北和議に就き徐世昌氏を促し委員を上海に派し議和せしむる事
尚上海外人居留地を議和地點とせり

◇巴里國賓來訪

巴里には十二月中旬くも大度國賓の來訪あるべく白耳義國王は五日來着ありウィルソン大統領、伊太利皇帝、塞耳維亞攝政公、希臘國王、英國海軍委員之に次ぐ可し(巴里電報)

◇宮殿下著米期

東伏見宮殿下は井上侯其他隨員と共に十二月六七日頃米國桑港著の御豫定なりと(東京特電)

◇近藤男發期

近藤廉平男は明年一月二日郵船伏見丸にて實業團隨員と共に出發の豫定なりと(東京特電)

◎英鐵緩和影響

我が鐵市場の影響如何

英國政府は今回佛國及び白國に對し鐵の輸出許可を與ふる事となり尚我國に對しても政府の保證あるものに限り特許するに決したる旨或る筋に入電ありたる由にて既に船腹の準備を爲す者さへある次第なるが

▲若し此後順調に英鐵の輸入せらる、場合我鐵市場に如何なる影響を及ぼす可きかに關し當業者の觀測に依れば英國に於る三號銑鐵本國相場は九十五志に公定し未だ之が變更なきが如きも輸出向鋼及び鐵は過般英國政府總輸出調査委員會に於て八十志乃至百志方の引上を爲せりと云へり果して然らば從來輸出相場は百二十二志九片なりしを以て此後の輸出相場は二百三志即ち我國換算相場約百圓見當となり之に運賃の二十八圓稅金一圓五十錢其他荷船賃、金利及び問屋口錢等約十五圓を加算するも

▲約百四十五圓見當に過ぎずして我國の市價に比し著しく低位に在ることなれば若し無制限的注文に應ぜんか之に向つて各國の注文殺到すべきは當然の成行なるが故に斯る場合何時迄も現在の相場を維持するや否やは疑問とせざる可らず尚ほ英國は戰前に於て獨逸及び日本其他の諸國に向つて盛に輸出したるに依り一部內地の產業回復して一方戰時的需用の減退を示すに於て既に緩和せられし鋼鐵と同樣の程度內の輸出を爲すに至るは當然なりと雖も恐らく實際的に

▲我市場を一轉せしむる程多量の鐵材が直に輸入せらるものとは想像し難き事情なきに非ず兎に角此後現れ來るべき北買如何に依りては斯界の一大問題也と(東京)

◎滿洲に於ける鮮人營業狀況

滿洲に於ける朝鮮人の營業狀態に關し奉天商業會議所の調查する所によれば各地に居住する朝鮮人中市街地に在るものは金貸業、料理店、賣藥請賣業、質屋業、雜貨業等に從事するもの多く村落に在る者は悉く農業に從事す尤も耕作地を所有して自作する者なく總て支那人の所有地を小作する小農にして借地期限は一年乃至二年となり居れり今各種營業狀況の一斑を示せば左の如し

▲金貸業 普通の金貸業者に非ずして五圓乃至十圓の小口貸金を元金交付の翌日より日割返濟し返還せしむる方法にして月利略二割に相當する高利貸業者なるが彼等の顧客は下層支那人なるを以て日割返還金の回收に困難の模樣なり

▲料理店 朝鮮人酌婦二三名を置き中流以下の支那人を相手とする所謂料理屋營業にして家屋の設備頗る劣等にして一見不快の感を起さしむるもの多し

▲藥種賣藥業 藥種商は古へ漢法醫の使用する草根木皮の藥材を取扱ひ賣藥商は各種賣藥の請賣なるが兩者何れも小資本にして營業の模樣著しきものなく往々禁制品の密賣を爲さんとする傾向あり

▲質屋業 質屋業も僅々三四百圓の資本を以て最下級の支那人を目當に月利一割內外の高利を以て零碎の金額を質貸するものなるが資金の割合に相當の利益ありて今後永續の見込確實なり

▲雜業 雜業者は鮮人中にても別して小資本者に屬し中には全く資金なき者あり彼等は一定の職業なく或時は朝鮮紙を或時は洋燈の行商に從事し稍ともすれば職業を轉じて漸く糊口を凌ぐに過ぎざる細民なり

▲農業 朝鮮人の支那內地に移住する者の大多數は農業者なるも正式の商租又は慣習上の押租に依り耕作地を使用するものなく支那農民が畑作に不便なりとて放棄せる沮洳の地を卜し地主に商議して一年乃至二年の小作期間を定め小作料を納め農を經營する者なるが其の小作農經營の方法は定額料金の一部若しくは全部を前拂するものと收穫後收得物を折半するものとの二種あり前者は一地方に限り行はる、ものにして其數少く後者は各地に於て從來より最も多く行はる、方法にして關係鮮人も多數に上れるもの、如し

◎國際貨物聯絡

朝鮮に於る國際貨物聯絡狀況を聞くに九、十の兩月は特別輸送の爲め其受託を中止したる關係上十一月に入りては相當の出荷あり殊に內地發に係る貨物は季節の關係上著しく增加せりと而して十一月中に於ける輸送數左の如し

朝鮮發 哈爾賓行 米及び雜穀 七七噸
大阪發 同 綿布外雜貨 一三六噸
計 二一三噸

◎內地行滯貨

十一月三十日現在滿鐵京城管理局線內に於る內地行聯絡貨物輸送狀況及び線內在荷數量左の如し
(一)線內在貨

月次	本州線米原以東行	本州線彥根以西行	下關及九州行
九月中申込	二三三〇噸	三七〇〇噸	三三三噸
十月中同	三五二	一五七〇	一五三
十一月中同	三三二	五九三	一三七〇
計	五三六	七八三	三三九
(二)釜山棧橋滯貨	六	一〇五	一〇四
(三)局線內輸送中		一七九	六七

而して而釜間及び山陽線輸送力は本月中行米原以東に於ては鮮滿發二百噸釜山地發五十噸同彥根以西に於ては鮮滿發二百八十噸釜山地發七十噸計六百噸にして九州行に於ては鮮滿發百六十噸釜山地發四十噸計二百噸なり尚局線發送に對する制限は車扱承認數九州行每日十五車四國行同四車にして一日一驛の發送噸數は二噸(米、大豆等)迄及び斤扱ひ貨物は制限を附せず

以上の如く更に四日を以て特別輸送は終了し今後特別輸送中に停滯せる若干の貨物輸送を終れば全く順調に復すべく出廻りの增加と共に海港著の穀類は著しく增し來らん尚目下の輸送力は穀物一日一千二三百噸約一萬石と見て大差なし因に平澤水原方面の滯穀は概ね仁川積出しに付殊に仁川への仕向米は近く大いに目立ち來らん

◎廻米漸次增加

仁川著激增せん

數日來京釜線の出發地たる平澤烏山兩驛を中心とし成歡始興、各驛よりの車輛には米穀の廻著日に增加し來り驛の內外はその俵の山を築かれる現狀にあり右に付滿鐵京城管理局の當局は曰く十一月中旬までの廻米は微々たるものなりしが下旬以來特に此の數日廻米の增加は目立ち來れり然も未だ京釜線方面に限られ居る如きが年末納稅並に好調等の狀勢より見れば今後廻米は各線共に漸增し來らん、乃ち之を中旬末下旬末の米穀輸送申込量に見るに中旬末の二十日は五千九百噸に過ぎざりしが下旬末の三十日は一萬三千噸乃ち二倍強に增加し居り昨今は先二萬噸に近しと見て可なるべし(一噸は約七石)乃ち之を各線別に擧ぐれば左の如し

▲十一月三十日現在
京釜線 九〇四九噸
京義線 一一四八噸
湖南線 二五九六噸
京元線 一〇二二噸
合計 一二九二五噸

▲十一月二十日現在
京釜線 四四〇七噸
京義線 六七六噸
湖南線 八〇六噸
京元線 七三噸
合計 五九六二噸

◎對支妥協勸告

當局の說明

借款差控理由

五國公使より北京政府並に廣東軍政府に提出せる妥協勸告に關し外務當局は語りて曰く

覺書の骨子は云ふまでもなく其第二項なり即ち內田外相が其就任に際し支那の統一を翹望する旨聲明する處ありたるは今尙世人の記憶する處なるが爾來幸ひに支那に新なる形勢は和平統一に向つて進み既に南北共停戰命令を發するに至れり然るに最近北方に在りては舊國會の極端派等上記の大勢に背馳するが如き行動を敢てせんとせり是は啻に世界の大勢に悖らんのなるのみならず國の利益を害し我國の東洋に於ける地位にも相關し到底默視することは能はざるものあり遂に已むなく今回の友好的勸告を發するに至れり

▲民福を中心 然れども之が爲め五國政府は何等干涉の企圖を有するものに非ず又其妥協條件に對して容喙するを好まず唯だ理法に依り支那の民福を中心として和平統一の實現せられんことを念ずるのみ從つて和平の障害となるが如き一切の擧措を避けんことを冀ふものなり

▲借款の差控 尙ほ非公式には既に世間周知の事實となり居れるが如く現內閣は支那の內爭を激成せしむる處ある借款は全然差控へ來りたるが今回更めて之を公式に聲明せり然れども是れ決して我國實業家の支那に於ける經濟的活動を抑止せんとするの趣旨に非ず支那の爲めに計つて有益なる借款ならば我國の之を辭せざるは勿論此か列强の之と與るを寧ろ希望する所なり唯だ南北の分立對峙する現狀に在りて借款に應ずるは結局支那の平和と統一とを招致する所以に非ずと爲し一切の借款を暫時差控ふるを至當と認むる時期まで差控ふることに決したるものにて列國も亦此樣の意嚮を示し就中我國政府は此點に關し强き決心を有せり

▲援助の意圖 然れども之に誤解なきを望まざる可からざるは我國政府が決して支那の一黨一派を偏援せんとするものに非ざることは是れなり從つて支那の和平統一にして恢復せらるるに於ては日本は力を盡して有らゆる財政的援助を爲すの意あり否獨り財政的援助のみに止らず支那の希望し且つ支那の爲めに計つて有益なる事項は其何たるを問はず且つ之を援助せんとするの決意を有す即ち要は支那の平和恢復を希望するのみなり然るに徐錦氏の[illegible]るに乘じ爲めにするに無根の說を流布して以て中外を誤らしめんとするものあり今回我國政府の立場を內外に明示するの必要を感ずるに至りたる所以なり

▲當局に申報 即ち政府は關係當局に於ても諒を含め支那のみならず西伯利に對しても其投資が國家の目的と大いに相關するものあるを慮り苟くも之れを[illegible]に融通することなる虞ある借款又は類似の交涉を爲さんとする場合は日本內地に在りては外務省、他國に在りては在外帝國大公使館又は領事館に之を申報して政府に於ては之が爲め其の事業の指示を受く可きことゝせり其の秘密を漏洩し若くは事務の敏活を缺くが如きことなきを期せり而して之れを無視して交涉を進行するが如きことあらば國家の保護を受くること能はざることあるべきのみ(東京)

◎十驛倉庫開業

滿鐵京城管理局にては十日より[illegible]、批峴、龜浦、洛東江、密陽、淸川、文川、永興の各驛に於て[illegible]の營業を開始する事となれり但し當分の內野積託の外取扱はずと

◎京畿土木管區道路築造通牒

京畿道にては這回管內各府尹郡守土木管區に對し道路築造に關し通牒を發したるが右に依れば道路の新設改良變更及擴築等に就き

◆府及び面に 於て施行する道路は一、二、三等道路に在りては道及び府の區分に依り築造するものとし等外道路に在りては府及び面に於て施行するものとし等外道路は幅員五分以上、三等道路は幅員二間以上、二等道路は幅員四間以上、一等道路は幅員四間以上として府及び郡は[illegible]官廳と商議し翌年度に於て施行すべき道路の日限の第一號樣式道路築造計畫表第二號樣式夫役課豫定調書及第三號樣式道路網圖を添へ

◆道長官に對し 府に於ては一、二、三等道路は經伺、等外道路は認可申請、郡に於ては一、二、三等道路は要求、等外道路は經伺の手續を爲す可く土木管區に於て前號の手續を受理したる時は直ちに經由進達すると同時に該當の道路は實測を爲し設計書及圖面を調製提出し指揮を受く可しと做せり

◎本年の移民 東拓拓殖

會社本年募集移民の應募申込は一千六百餘戶に對し承認戶數目下の所約五百戶なるが尚ほ土地の選定に關し打合せ進行中のものあり結局承認戶數は未だ增加すべしと

◎機關庫主任會議

滿鐵京城管理局にては六日樓上特別室に各機關庫主任の會議を開き安藤運輸課長佐藤車輛長等出席せり

◎聯合會設立會 京畿

道廳にては七日より二日間會議室に於て金融組合聯合會設立會並に同理事會を開催す可し

◎鑛業登錄 (自十一月十五日至同月廿一日)

▲鑛業權設定
黃海道瑞興郡龍坪面 五十二萬八千三百四十六坪 朴宗鎬
同 黃州郡淸水面平安南道中和郡 李文鎬
平安南道鳳山郡[illegible] 六十一萬二千二百二十八坪
平安南道成川郡大邱面 三十一萬三千八百二十坪 時弘植 石[illegible]
平安北道江界郡前川面 二十三萬六千卅二坪 秋元良之助 渡邊新太郎
同 從西面 五十一萬八千十八坪 松下偉次郎
黑鉛 化[illegible]面 二十七萬九千百七十五坪 矢村勘次 山崎良右衛門
年 南道江東郡高泉面 九十二萬千七百五坪 林[illegible]太郎

▲鑛業權移轉
金銀 北道鎭[illegible]郡[illegible]面 藤田駒吉 渡邊精吉郎 原生善 洪[illegible]

▲鑛業權消滅
平安南道順川郡大[illegible]面 廢棄
同 安州郡鶴龍面 同
同 中和郡海鴨面 同
黃海道[illegible]郡 同
平安南道[illegible]郡[illegible]面 同
平安北道[illegible]郡[illegible]面 同
咸鏡[illegible]郡[illegible]面 同
平安南道中和郡[illegible]面 同
平安[illegible]郡東山面 同
咸鏡[illegible]郡內中面 同
江原道[illegible]郡[illegible]面 同
宜川郡山面 同

▲鑛業權設定
金銀 忠淸北道鎭川郡文白面 三千七百六十坪 洪完基
同 忠淸北道永川郡[illegible]村面 百六十坪 佐々木[illegible]明 四十五萬[illegible]

▲鑛業權消滅
京畿道[illegible]城郡[illegible]面 廢棄
忠淸北道[illegible]郡[illegible]面 取消
平安南道孟山郡孟山面 廢棄
平安南道[illegible]郡[illegible]面 同
安州郡[illegible]面 同
平原郡[illegible]面 同
[illegible]學越郡[illegible]面 取消
咸鏡北道[illegible]郡上面 廢棄

◎鮮銀券發行高

鮮銀券の五日現計は九千九百五十二萬六千八百三十九圓にして一兩日中に一億圓に達せん

◎福原中將退京

入京中なりし陸軍中將福原鐐太郎氏は七日午前八時四十分南大門發列車にて歸東の筈なり

◎[illegible]京城元帥[illegible]旅行 [illegible]

◎井內調查局長北行

鮮銀の臨時調查局長井內勇氏は西伯利派遣員調査の爲め[illegible]ハルビン方面に向ふ由又々近く

◎人事

戰鶴閣 早田 玄洞

[illegible]

▲吉松嘉[illegible]氏(慶北第一部長) 六日夜入京
▲京畿道[illegible] 同上
▲末田新吉氏(海州農學校長) 六日退京
▲大內[illegible]三一(福岡縣選出代議士) 六日夜退京奉天へ

◎鳥瞰錄

▲『大學試驗』問題も解決を待たが京城[illegible]中學校の柴崎校長は平素から點取主義の勉强を非常に嫌悪して居る人である▲『吾々は在學中優等生なりし者は決して將來の期待を屬して居らぬ』と一席次席を爭ふ生徒に必ずしも好成績を擧げる生徒よりも餘裕を存して中位に在る生徒の方が將來必ずよくなる』と云つて居る▲鈴木元町小學校長の嫡死に就てあれは御眞影の災に燒還せられた事を知つて居て火の中へ飛び込んだのだと云ふ說を爲すものがあるのに對して▲『前學務課長』は慨嘆して曰く『左樣な事は虛說である』或は校長は飛び込んで行かうとした際御眞影の安全な事を叫んだ者もあつたかは知らぬが▲斯樣な場合普通の精神狀態では無いのであるからそれが耳に入らう筈はない安所迄は入口から可成の距離がある▲死ぬると云ふ丈けの覺悟なら猛火の中をアソコ迄は行けぬ一途に腦裡に御眞影の事がコビリ付いて居たからこそである』▲お互に校長の清純な死に對しては猥りに區々の評言を放つ事は好まぬ▲東京では鷄卵一個が十三錢して居る相な▲卵十個が一圓三十錢なんて露都の話許りと思つて居たら大違ひだ

◎東京駒込の火事

寄宿舍其他附近數戶を燒失せり原因目下調查中なり(東京特電)

株式	
新	一二二、五〇
同	一二〇、八〇
東洋汽船	一八一、六〇
大阪商船	一三七、三〇
日本郵船	一九九、〇〇
同新	一〇五、四〇

兵庫期米
三七四〇 三七三五 三八五八 三八九九 三七四七 三七二九 三八五八 三七一五 三七二二 三八九九 三七四七 三七三九

大阪期米
六日前場 寄附 高値 安値
三六、七九 三七、〇二 三六、九九

九十十五錢先三十圓四十七錢と十五錢高に寄付五十七錢と擬ね四十八錢より五十三錢を採合ひたるが折柄大阪高唱さに買氣を呼び遂に六十錢强敵に打止めたり

後場 六日の二月限

▲廣告

鶉成金

▲女子供でもなれる何故こんなに東京大阪で大流行ですがそれは此頃毎日卵が取れて一つ拾錢で飼ひ方は最も穏こ資れるからです鶉飼養法一冊送料四拾八錢
東京下谷西町四四 振替貯金東京九八八九番 和田鶉風園

法人登記公告
掛平金融組合登記事項中目的ヲ左ノ如ク變更ス
一、組合員ノ爲メニ産業上必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲メニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲メニ産業上必要ナル材料ノ貸付若クハ共同購入ヲ爲シ又組合員ノ委託ニ依リ其ノ生産物ノ販賣ヲ爲スコト
四、組合員ノ爲メニ其ノ生産物ヲ倉庫ニ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト
五、朝鮮銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其業務ノ媒介ヲ爲スコト
六、地方金融ノ調節ニ關シ總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
右大正七年拾貳月貳日登記
京城地方法院楊平出張所

京日案內

不用品 高價買入御一報次第參上
黃金町三電話一八六二 園根古物店

看護婦及見習看護婦入用
希望者來談あれ
明治町二丁目 森醫院

卜居
京城本町四丁目一五五番地
電話四九八番 中村暉

貸家 南米倉町高燥眺望絶佳
敷六二十二畳(溫突アリ)水道風呂附
家賃二十二圓 明治町二丁目
電話一〇〇八番 共同社

年金恩給 低利長期即時立替 保險不要
商品陳列館前下角 京城永樂町一ノ一
江州屋本店

毛皮なめし仕立
鳥獸剥製標本類調製鳥類手羽買入
京城本町二 毛皮剥製貿易商 電話長二〇六五番 松元商行

店員入用
年齡三十歲迄ノ書算出來ル者希望者ハ履歷書持參本人直接來談あれ但市內に確實なる保證人二名を要す
南米倉町 齋藤出張所

支那高等御料理 歲末御宴會席仕出し共迅速配達仕候
京城長橋通北詰 電話二八二番 新世界

袴專門 並に仕立及賣御小賣
可成迅速に調進可仕候
本町四丁目十五番地 山崎商店

◎配達人急募集
希望者は直接本人來談あれ
京城明治町 町田新聞部

開業 西洋料理 均一十五錢
(御燒御一人前三十錢以上)
明治町二丁目 電話一八五一 サクラ軒

京城にて 中學卒業程度の三十歲迄妻帶の者
被度雇
京城日報釜山支局へ照會

店員募集
年齡二十一歲の者履歷書携帶午前中本人來談あれ
吉野町一の九一 中島商店

十二月三十日迄
特價品 よせ裂 見切反物 澤山

景品附 歲暮大賣出し

新年の御衣裳階上に陳列致居候
丸一吳服店

料金改定廣告
物價昂騰の爲め十二月四日附其筋の認可を經て右之通り料金改定仕候
	一等料金	二等料金	三等料金
散髮料	四十錢	三十五錢	三十錢
剃料	二十錢	十八錢	十五錢
▲小供丸刈十五錢 ▲出仕事倍額
大正七年十二月 京城理髮業組合

謠曲の友主幹 齋藤香村先生著 定價金九拾五錢 送料內地八錢
謠聲の出し方と效及び
再版 大好評
謠の根底たる聲と聲の出し方を說き謠の巧拙を判じ謠名を知らぬ者も直ちに活用し得べく古人の秘事口傳として傳へ來れる所を親切に說明し從來の稽古法の弊害を打破し其他謠に關する[illegible]
東京神田區小川町 振替東京四三八九 能樂通信社

歲末新春の財界!!
世界的戰亂の終熄と共に我が國の經濟界は平和克復の大變調を來さんとす前途觀の公開なり株式米穀綿絲生絲金屬土地等の重要なるもの、將來は如何になるか之を知らんとする人は本社に照會あれ
平和來と日本の物價 無代進呈
大阪市北區堀上町 濱一商店調査部

通俗藥草栽培講義錄
大日本藥用植物研究會

書畫骨董入札競賣會
期日 十二月七日(土曜日)下見(午前九時より午後四時迄)
十二月八日(日曜日)入札(午前九時より午後四時迄)同日開札
會場 於京城日報社來青閣(樓上)
某名士 書=伊藤公書額仕立 外數點
書=楊月筆(大黑天)秋草抱二 外數十點
(秘藏品) 器物=大象(床置) 外十數點
雪齊蛭子(一物) 刀劍關孫六 兼光大 外數點
上記の外珍品數拾點
主催 京城太平通り 合資會社 京城日報代理部 電話六〇九番

清酒値上廣告
一清酒 金千代 銀千代 壹挺ニ付 金參圓
右之通り本日より値上げ仕候也
大正七年十二月一日
金千代釀造元 平壤 齋藤酒造合名會社

元山名產かきしほから特價提供
發賣以來多大なる好評を博せる元山名產かきしほから諸物價暴騰の折柄にも拘らず京城出張所開設一週年自祝の爲め年內に限り左記特價にて提供可仕候間不拘多少御注文の程願上候
元山名產 かきしほから 定價金拾五錢 特價卅參錢
京城旭町一丁目電話一八五一番 元山 橫山兄弟商會京城出張所
特約店
京城南大門市場 電話二三三番 池尻商店
京城本町二丁目 電話九〇〇番 島屋賣部
仁川宮町 電話二五二番 矢上商店

文藝者 課題及び募集規定
▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に推敲は匿名の外に住所氏名明記の事▲應募一等は五十錢商品券を呈す

◎旭旗黒海の朝霧に…

燦たる初光を放つも近きにあるべし

聯合各艦隊の威武堂々ボ海峽を航行する其日よ

ボ海峽問題は講和會議に如何なる

黒海に潜在する獨逸麾下の露艦隊を監視す可く地中海にて策動したる聯合各國の艦隊が問題のダーダネルス海峽を突破してマルモラ海よりボスポラス海峽を威武堂々艦首を揃へて

▲黒海に航行 すると洩し既に二日午後マルタ島を拔錨したるが斯くの如きは世界戰史に未だ嘗て見ざる所にして中に帝國軍艦も日進と隨行驅逐艦、從わり聯合各國の艦旗と共に世界に輝く旭日旗が朝霧に閉されたる黒海上に燦たる初光を放つも近きにあるべし右に付某海軍武官は

▲晴やかなる 面色にて語る『ボスポラス海峽は勿論前來ダーダネルス海峽の航通は國際上の問題として堅く禁じられてゐるので聯合各國の艦隊が轡を相銜んで黒海に入るなどは是れを以て嚆矢とす殊に帝國軍艦が黒海の朝風に旭旗を飜すなどは

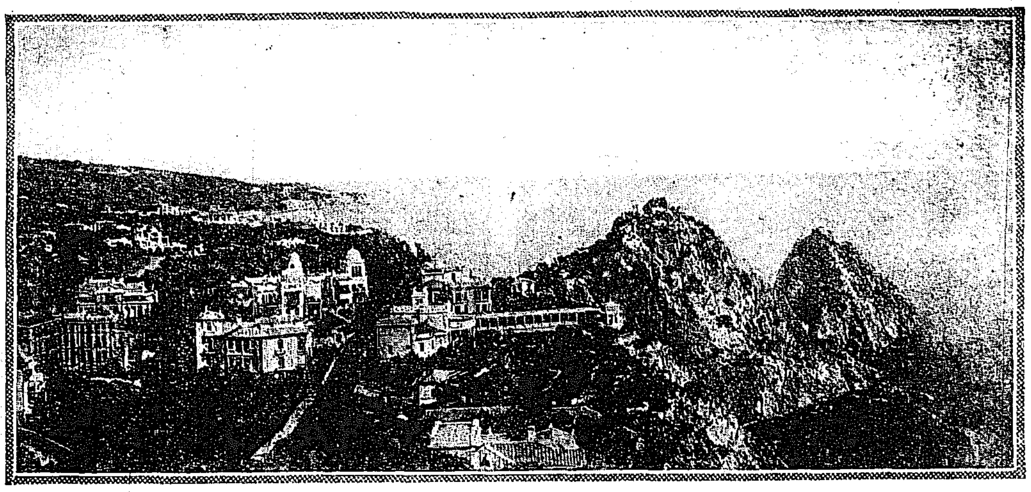
▲今回が始めて である明治十四五年頃時の帝國軍艦[illegible]都號を遊ねて同廿三年末修交條約締結の爲め土國の最高勲章を先帝陛下に奉る可く來艦した土國軍艦『エルトグール』が過つて紀州沖で坐礁沈沒し六百五十餘名の乘組員中生存者六十三名を時の帝國軍艦金剛比叡が

▲送還の使命 を帶びた時と前後を通じて二回ダ海峽を通航して土都コンスタンチノープルに入港したのみで未だボスポラス海峽を通過したものは只の一艘もない世界の歴史を繙いて見るとダ海峽航航問題は常に複雜危險な國際問題惹起の中心となつてゐる黒海沿岸は元土領であつたのが千七百七十四年カイナルヂー

▲條約の結果 クリミヤ地方が露の手中に收め露國は始めて黒海の自由通航が出來る樣になつたが千八百世三年露土條約で土國以外の軍艦は該海峽の航行を許さぬ事に[illegible]千八百五十三年クリミヤ戰爭當時土[illegible]に應援した英佛艦隊は地中海から拔く

▲黒海に侵入 して露國黒海艦隊をセバストポールに殲滅した事がある千八百五十六年同戰が終結して巴里條約の締結された時黒海を局外中立として沿岸兩國の沿岸中の軍艦を除いては外國軍艦[illegible]千八百七十一年倫敦條約に依つて黒海の中立は廢棄せられ爾來問題の種となつてゐるのである

▲大擧黒海に 入らんとしてゐる今回講和會議の席上でも取扱はれ本問題の解決が如何になり行くや最も刮目に値する問題の一である



◇黒海セバストポル近郊 我艦が聯合各艦隊と共に舳艫相銜んで堂々ボスポロス峽を航行し世界に輝く旭日旗を今や此の處に進めんとす……

□勅許書に御宸筆

―國分次官拜受―

梨本宮王世子兩殿下御禮言上

四日李王家並に梨本宮家より御婚儀勅許奏請ありたるより 天皇陛下には五日午前十時『王世子垠殿下と方子女王殿下との結婚を許す』との勅許書に畏くも『嘉仁』と御宸筆あり御璽を押させられ宮内大臣之に副署して兩家へ御達しありたり、國分次官は午後三時參内勅許書を拜受し直ちに李王家へ送達せり王世子殿下には六日午後參内兩陛下に拜謁御禮言上遊ばさる 尚梨本宮守正王殿下は五日午後三時三十分右御禮言上の爲め參内あらせられたり(東京特電)

▽御婚儀御日取りは

告期の御儀終了後發表

洩れ承はるところに據れば御結婚御擧式は愈一月二十五日に確定せられたるも未だ告期の御儀終らざるに先だち發表するも如何と秘し居らる、由(東京特電)

▽御擧式

當日は關係深き人々のみを招待

王世子殿下と方子女王殿下との御結婚の御儀は霞ヶ關離宮にて御擧行遊ばさる、事は既電の如くなるが當日は兩家御親族の外は波多野宮相、長谷川總督其他各關係深き少數の人々のみ列席し御披露の宴を同宮に催さる、由始めて國務大臣其他各方面の代表者多數を御招待遊ばさる、由承はる(東京電)

▽御婚儀式飾付

五日午前九時より午後一時に至る迄四時間に亘り學習院より浦田敬擧王世子邸に伺候し御婚儀に關する式場の飾付其他萬事に就き係員一同に教示するところありたり(東京電)

◎同化の好模範

昔の日鮮關係を再現

子爵 趙重應氏談

王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀に關し趙重應子は語つて曰く

勅許の趣きは今朝(六日)の京城日報を見て知りましたが誠に慶祝に堪へぬ、元來兩殿下御婚儀の事は遠く

▽伊藤統監 の時代に胚胎し寺内總督になつてから一層具體的になつたのであるが何しろ國際問題としては皇室典範に抵觸する爲め總督を始め何れも頭を惱まして居られた所が今度端なくも皇室典範を增補せられた結果實際に於て御婚儀が出來る事となり茲に其勅許を見ると同時に

▽多年萬民 の渇望して居た御慶事が愈具體的になつたと云ふ、は日鮮同化の好模範と誠に目出度き極みと言はねばならぬ、思ふに日鮮關係は過去六百年間稍疎遠に流れて居たが其間前に於ては

▽兩皇室の 間に御結婚が行はれ國民と國民の間にも亦盛んに婚姻の行はれた事實がある即ち兩殿下今回の御慶事は昔の日鮮關係を再現し同化の範を事實の上に示されるものでその意義は誠に深長である夫で

▽一般民衆 は深くその趣旨のあるところを察し向後益々内鮮同化の實を擧ぐるやう努力する事が必要だと思ひます。

◎殉職鈴木校長に り勞金

後任に就ては學務當局にて詮衡考慮中

◇子女の學業未だ半ばなり

龍山元町小學校長鈴木志津衛氏が五日早朝同校出火に際し一途に御眞影の危險なるを思ひ既に御眞影を他に奉遷せるを知らず身を猛火中に投じ遂に壯烈の最期を遂ぐるに至りしに就ては當局に於ても氏の多年教育界に盡瘁せる功勞多大なるに今回の

◇殉職に 對しては最も深甚の同情を以て迎へ其の後事に就ては總督府學務當局に於て鄭重考慮中なる由なるが當局の意向に依れば先づ氏の生前に遡り教育功勞者として敍勲を行ひ規定に依る遺族扶助料は公務に殉じたるの故を以て普通の倍額を支給さる、事となるべく其他内規に依り公務に殉じ又多年在職の功に依り

◇功勞金 を賜らる、事となるべきが今回校長の死に對しては一般の同情又多く殊に子女も學業未だ半ばにして將來の方針に對しても懸念し同情を寄する者多く既に總督府並に廳内に於ても有志の醵金を申合せたる由なり

◎私等の微衷を傳へて下さいと

涙の寄金を殉職校長の遺族へ!!!

仁川辻川氏の篤志

五日仰曉龍山元町尋常高等小學校長鈴木志津衛氏が[illegible]よりの發して校を烏有に歸し[illegible]校長は御眞影を他に[illegible]はせんとて渦巻く猛火[illegible]に燃盛る紅蓮に身を躍らせて飛び込みたる時は御眞影奉安室は猛烈の[illegible]を以つて狂め盡さんとしつゝあり[illegible]認め最早是迄なりと決心し[illegible]室[illegible]縋つき兩手を突いて[illegible]詫び極めて悲愴な殉死を遂げた事が

▽本紙に よつて報ぜらるゝや讀者は如何に敬意を拂ひ[illegible]涙に咽ぶ此範とすべき鈴木校長に對し[illegible]だ事であらうか中にも仁川花房町辻川富重氏の如きは京仁車中にて偶々本紙の記事を讀み感激まつて人目も憚らず涙に咽び[illegible]仁川の一市民であるが鈴木校長の壯烈な死の事を御社の新聞によつて知りました私は鈴木校長が火中で[illegible]

▽皇室を 重んじ猛火中に飛び込み殉死された事は我思想界に生きた教訓を與へられた事と思ふと共に[illegible]教育家として模範とすべき人と思ひます私は其模範教育家鈴木校長の遺族の方に對して[illegible]ですが些少ながら慰藉金を差上げ度いと思ひます鈴木校長には一面識もない私ですが直接は[illegible]致しますから御社を通じて

▽遺族の 方へ傳へて下さい私等の微衷をと[illegible]

いと左記の弔慰及び遺族奬學資金を本社に託されたり

一金五十圓		仁川府花房町 辻川富重氏
同 十圓	同	三千枝
同 十圓	同	不屈志
同 十五圓	辻川精米所	店員中
同 十五圓	同	職工中

因に右金額は朝鮮聞社、京日報[illegible]

◎明川の積雪

六七寸となる

咸北沿岸中最も降雪多き處は擇水端より明川附近に亘る一帶の地方にして其より南城津方面及び北清津方面へ赴くに從ひ漸次薄らぐ模樣なるが明川附近は去月十七日以來度々降雪ありて今や六七寸の厚さに積り滿目唯白皚々たる雪の野原と化し氣温も清津地方より寒冷なりと

◎兼二浦の剃刀自殺

兼二浦居住原籍廣島市平塚町二六平民大工棟梁尾野務次郎妻しか(〇)は六日午前六時自宅に於て剃刀をもつて頸動脈を切斷し自殺を遂げたり右動機に就て醫師の說明に據れば精神錯亂の結果なりと詳細後報す可し(兼二浦特電)

◎床屋の値上

一等散髪は四十錢

値上げ流行の昨今京城理髪組合でも亦料金を値上げする事となりかねて其筋に出願中であつたが其筋では篤と詮議の結果先づ〳〵無理もないとあつて[illegible]許可したそこで今後の料金は理髪が從來よりも五錢高の一等四十錢、二等三十五錢、三等三十錢、總剃は一等だけが從來の儘で其他は三錢上りの二等十八錢、三等十五錢になり子供は丸刈で各等一律に十五錢になつた、理由は例の多分に漏れぬ物價騰貴

梅鶯會の納會

梅鶯會にては三、四、五の三日間[illegible]に於て淨瑠璃納會を催したるが鄕[illegible]淨瑠璃連中の出演あり呼物は[illegible]

故鈴木校長 吊慰及奬學金募集

龍山元町小學校長鈴木志津衛氏が同校の出火に關し御眞影を安全の地に奉遷せんとし猛火を踏みて奉安室に進入拜跪したるま、壯烈の最期を遂げたるは事實に於て國民思想上に大なる教訓を貽したるものにして永く後昆に傳ふべきの事蹟なりとす而も氏には老母病妻に在り寡婦遺孤亦其の倚る所を失ふ洵に以て痛悼に堪へず爰に三社は其筋の同意を得遍く江湖に向つて吊慰及遺兒奬學資金を募り聊か氏が在天の靈を慰めんとす庶幾くは御賛同あらんことを

一、金額に制限なし
一、期限は十二月末日を以て締切とす
一、義捐諸には別に領收書を出さず三社發行の新聞紙に掲載して之に代ふ
一、龍山各位の爲には特に十八銀行支店及び出張所に取扱を依頼せり

大正七年十二月八日

朝鮮新聞社
京城日報社
每日申報社

懸賞 新年文藝 募集

課題

▼和歌『寄羊祝』▲俳句『双六』▼川柳『雜』
▼俗謠『數へ』▼ものは付『明るい物は』▼一口噺『平和に關するもの』▼下句付『アラ嬉し』▼謎『講和とかけて』

制限

(一人に付)一題一首又は一句、但し一人で數題投稿するも可し(用紙)半紙又は同型の紙(〆切)十二月十五日(送付)[illegible]用紙に「新年文藝」係宛送附する事

賞品

(各題に付)▲一等一圓▲二等五十錢▲三等(三人)[illegible]錢宛(但し本社代理部の相當書籍)

◎人蔘エキス特約

[illegible]十六、筑紫、叶、寅、二巴、兒玉、鬼丁、抓呉、由良、助、加賀、兵梟、宮盛、明盛、屯荷、手當、水

鮮人蔘の有效成分を東西諸家の[illegible]研究せる表に依りて益々其價を發揮し[illegible]これが需要者の嗜好と共に人蔘エキス製造者[illegible]出に互に自家の製品を[illegible]なり[illegible]他に匹敵するの[illegible]なるが[illegible]

[illegible]

ちんぞう

[illegible]炎にて蛋白質非泄し困難せらるゝ[illegible]の方藥書にて照會詳細報す
[illegible]天舗堂

本場精品 御贈答用ニハ 御銘茶定價表

製造本店 山城宇治乙訓久世 製茶問屋 井上六平

最新刊 園藝家通覽 英雄一夕話 こらんぷ 卓上備忘暦 大正八年小學生日記

京城本町一丁目 大阪屋號

宮内省御用品の眞價は既に社会に定評あり種々の名稱を附したる類似贋品多し本品の一部には ……… の英字刻印押捺せり

スワン萬年ペン

到る所の文具店に目下販賣中賣人の爲め御用命は最寄の販賣店に又は東區平野町一丁目スワン大阪出張所

流行性感冒の手當

今度の感冒に効能顯著なる

ホシ鎮痛解熱藥 定價 十錢 廿五錢 五十錢

ホシ小兒風藥 定價 金十錢

感冒が段々惡性に變化する

全世界を騷せた流行性感冒も昨今は稍々下火になつたけれども一般から云ふと近頃の感冒は其病勢が惡性に變化して來て昨今其死亡率が段々增加して居る、死亡の原因は感冒が因で一般に身体の衰弱を來し肺炎を誘發して遂に危險症に變化するのである本病に侵された時は初めの輕症の内に完全な手當すれば大概は併發症を起さず良好に治癒するのである。

完全な手當と療法

而して何人も本病に侵されたならば、病室を乾燥せしめ、責任的に調劑したるホシ鎮痛解熱藥を用ひよ今度の感冒の特長たる高熱及四肢關節の痛みは忽ち消へ去るべし、若し小兒が本病に侵された時は、小兒の体質を基礎として調劑したホシ小兒風藥を服用せしむれば熱は消散し、痛みは去つて速かに治癒するものである。

痰咳と咽喉の良藥

而して本病患者の内、痰咳を頻發する人はホシ祛痰藥を又咽喉を侵された時は、ホシ復方鹽剝散を以て、每日數回含嗽をすれば速かに治療す。

ホシ祛痰藥 ホシ複方鹽剝散

東京市京橋區南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話 京一七八五、三〇二〇、四一七番
振替 東京 二一〇五二二番

品質第一

銘酒瓶詰之一大權威

全道各地之需要激增

大阪府堺町
宅合名會社
醸造所 攝津灘工場

李太王殿下御用品

品質撰擇

本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルチ以テ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ粘着力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鈍臭焦臭ヲ有スル粗悪品ト同視スベカラズ。

强壯、補血、興奮、保温、緩和、發汗、健胃、利尿、鎭痛、收斂等ノ卓效アルヲ以テ
○神經衰弱○精力減退○老衰○冷症○リウマチス○營養不良○レウマチス○貧血○婦人病○肺病○ヒステリー○心臟病○腎臟病○腸病○マラリヤ病○慢性胃腸病等ニ應用セラル

上製 十五匁入 一圓八十錢 三十匁入 三圓二十錢
特製 十五匁入 一圓五十錢 三十匁入 二圓八十錢 四十五匁入 四圓四十錢

朝鮮人蔘製劑所
特約大販賣
京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

大阪期米 六日後場(小雨、期近)

限月	高値	安値	止め
[illegible]	三七〇〇	三七〇九	三七一九

仁川期米 ▲六日後場 大阪前場軟化に次ぎ各地前止め高報を移し買氣旺盛を呈し七中三十圓臺

仁川米豆取引

六日午前一時五十分本町警察署管内京町に出火あり郁文館中學

下關期米

▲二日間時事『果てない物は』六日、七日、八日、九日
一下句付『世の中は』

母と子 （四十四）

北島春石作 森田久畫

假住居（一）

都會の眞中は田舍から飛出した成金共に占領されて、純粹の江戸ッ子は本所深川の片隅へ追ひこくられても目がさめず、未だに朝湯や初松魚を戀しがり、空腹を堪へて空氣焔をあげてゐることは、事實に於て江戸ッ子の末期は近づいたのだが、植惣が澁谷の奥に住んでゐるのは、敢て田舍漢と太刀討して逃込んだのではない。

何しろ、植木屋は地所を廣くとる職業柄で、現在の主人今居惣七でも三代から一つ所を動かず、まづこの界隈での草分け格。

その植惣夫婦の肝煎と叔父なる森泉直樹の情の袖に蔽はれ、何うやら雨露を凌ぐ假住居をさだめた志保子が、三年振で幸枝から母と呼ばれた時は、どんなに嬉し涙を零したであらうか。

この恩人達の情に叛かぬやう、そして、いさゝかでも迷惑を少くせんものと、植惣の女房おいとに頼んで何でもいゝからと内職の周旋を頼むと、ね、宜しうございますとと二つ返事、自分が懇意にしてゐる家々を廻り、一風呂敷ほどの縫物を持込んだ。

岸上の家に在りし頃とは違ひ中洲の實家に戻りて後は、出戻りよ厄介者よと蔭口をきかされながら亡母の墓參に出かける外、滅多には門口さへも覗かず、志保子はいつも一間に閉籠つたきりで、兩親の召料は元よりのこと義理ある弟妹達の衣類一切、他手を借ずにほころびまでも縫つて遣つた。

斯うして三年のうき歳月を過ごして來たのだから、初めての内職とは違つて手馴れたれば、どんな面倒な繊刺ぎも厭はず、賑出しの仕立屋などはとても足元へ追著かず、それに値錢も格安だから、わづか一月とは經たぬ中に、もうおいとの世話を待つまでもなく、これからそれへと持込まれて、今頼まれてゐるだけでも、迚も年内には間に合ひ兼ねてご辭受けられた。

それを思ふにつけ、今更ながら叔父や植惣夫婦の深なさけがしみ／＼感じられ、志保子は泣くまじとしても涙が先に立つ。けれども、それは憂に喚く涙にあらで、眞心から湧き立つ感謝の涙であつた。

『ねえ、枝枝。』と、志保子はいつも我が娘を膝元に呼寄せ『お前がね、斯うしてお母さんと御一緒に暮せるのは、みんな森泉のおぢい樣や植木屋のおぢ樣おば樣のお情だから決してこの御恩を忘れてはなりませんよ。』と、くれ／＼も言ひ聞かす。

幸枝は聞分けよくも頷いて、『ねゝ、わたし、いつまでも忘れません。』と言ひはするものゝ、その眼はすぐ悲しさに濕んで『けれど、いつになつたら岸上のお家へ歸れ、お父さんと三人でゐられるやうになれて。』

さう訊かれる度に、志保子は胸を搔毟らるゝ辛さ切なさ。

『あゝ、それは……あのそれはね。』と、暗い燈影に泣顔を背けても涙は痩頰に千筋の絲を引く。

『お父さんは怖しい夢を見てゐらつしやるのだよ。その惡夢さへお覺めなすつたら、わたしやお前をお迎へにお出でなさるから、それまでは斯うして親子で暮すのです。』

『でもね、お母さん。』と、をさな心には不審が解けやらず『わたしもね、毎晩々々お父さんの夢ばかり見るけれど、朝になるとすつかり覺めてしまふのに……何うして、お父さんはお目が覺めないの』

『あゝ、もうそんな事を……』と、志保子は縫物を片寄せて、跪と我娘を抱しめ『そんな事を言つて泣かせておくれでない！こつちはわたしとお前と二人がゝりであのお薬といふ女と、どつちが勝つか負けるか、辛抱くらべをするのですよ。』

さう言ひ聞かせる心を察してか幸枝も母の頸に兩手を廻し、『お母さん……』とばかり、ほろ／＼と熱い涙を流すのが常習であつた。

その血の涙で染たのか、宵々ごとに紅葉は彩づいて、菊も眞盛りの昨日今日。

○英國婦人活動

總選擧期日切迫

して婦人參政權の元老ペンクハースト夫人のサウスウイックにハウマチン夫人のヘンドンに又ホープ[illegible]

▲選擧地盤を荒しつゝありと謂へば如何に英國婦人有權者等は今回の總選擧に際して自身[illegible]の權を有するか不明なるも兎に角彼等は戰以來國家社會に對する婦人の組織的能力乃至奮鬪的精神の一般に[illegible]

るべく自然選擧界に拔くべからざる勢力を有する者の選擧政綱は既に[illegible]報の如く國際聯盟兵士に對する土地分與、國民住宅の改善、國民教[illegible]

の宿怨を表し唯勞働黨のみ戰後に於ても依然鐵道交通其他一般生産工業機關を國有となし根本的社會[illegible]

事業機關を統一經營せる實驗に顧み相當有力なるも勞働黨員中にも凡ての立脚點を國際的見地に置き[illegible]

に於ても勞働階級の戰時的勢力を認め戰後勞働階級の援助に期待する[illegible]

▲結束の强硬なるは[illegible]用食糧大臣クライネス氏が勞働黨大會の聯立內閣反對決議に從ひ辭職せる一事にても其一斑を窺知さ[illegible]

國際[illegible]の爲辭職を餘儀なくした外務次官ロバート、セシル卿と共に此際クライネル氏を失ひたるは[illegible]

間に十分意思の疏通せるものあり選擧の結果聯立內閣派の勝利に歸することは勿論なるも政府にして强[illegible]

○陸軍創製 家庭パン

▽食料問題解決 ▽の一助として

年と共に內地米食糧の不足を增加し米價は奔騰に奔騰を重ぬるより陸軍當局にては米食の代用食物と

▲家庭的製法 に就て廣くして最適低廉なる麵麭の研究を遂げたる結果家庭麵麭燒竈なるものを考究し食料問題解決の一端に資せんとして廣く世に普及せん爲め東京にては御茶の水教育博物館にて開催中の家事科學展覽會にて考案者田邊女中氏が該燒法の實演をなす筈なるが右に就て陸軍糧秣本廠陸軍一等主計丸本彰造氏は語る『戰時中野戰軍の給養には所謂『糧敵に據る』の言の如く

▲戰塲に現存 する食糧品を以てするを古來各國給養上の原則としてゐます是れは主として輸送の困難に基づくもので其結果は延いて作戰上に至大な影響を及ぼすものであります吾國の如き輸送機關が貧弱で而も軍隊給養の主食が米に限られてゐては其如何に不利であるかは敢て贅言を要す迄もないのであります幸ひに

▲米の生産地 方へ出征するならば兎に角ですが全世界中米の産出地方は一小部分に局限されてあるに反し世界に於ける小麥の年産額は約九億萬石で米の約三倍に達し世界到る處に産出するのですから小麥の常食法を講じたならば啻に輸送節約のみに止まらず

▲出征將士の 休養上此の遺憾なきを期し得るのであります殊に吾が國の産米は平時に於いてすら年に三四百萬石の不足を告げてゐるのですから一朝有事の際米を兵糧として多量に必要し一方壯年男子の出征又は軍需工業轉用に依る米産額の減少に想到したならば期せずして

▲小麥代用は 刻下の急務たる事を感ずるのであります斯うした種々の原因からと一つには時局の必要に迫られて戰地に於ける出征部隊自らが簡單に小麥の利用をなし得る方法十二三種を研究した結果今回の家庭麵麭燒竈が生れた次第です麵麭ならば炊飯の如く夏季に腐敗する虞もなく冬季氷凍する憂もないのみならず攜帶にも

▲分配上にも 至大なる利便があり就中炊飯の如く夜間炊事の必要がないので夜間戰鬪力の增進ともなるのであります炊事中敵の攻擊を蒙つて不慮の不覺をとつた苦き經驗は從來屢々嘗めた所です此缺點を補足し引いて國內の食糧を緩和する爲めには勿論急轉直下的要求は出來ないが漸變的に麵麭食常用の習慣を作る事に努めなくてはなりません』

日報俳壇

■寒烟居小集（永登冊）

冬ざれ

冬ざれや土に喰入る廢れ荷車　黄綠
畑荒れて冬ざるものに風多少　同
畑のものに群れ居る鴉や冬ざるゝ　同
冬ざれや收穫の後の畑の月　同
冬ざるゝ野に烟あて孤驛哉　綠萤
曠野一つに動く鐵道や冬ざるゝ　同
冬ざるゝ野來て城門の高さ哉　同
遠く見ゆる今渡る橋や冬ざれ野　同
冬ざれや鵲の啼ける瓦窯　立山
冬ざれや場末の店の熟し柿　同
御酒酌む神樂茶屋や冬ざるゝ　同
冬ざれや萱積みし牛の群れて行く　梨影
冬ざれや樋の灯水にさゆる夜　同
冬ざれて鳥の巣高き梢かな　同
冬ざれや汽車素通りする小驛　霞月
冬ざれや吾を見る猫の銳き眼　同
冬ざるゝ大河靜かに流れ舟　不求
村續く銀杏の巨樹や冬ざるゝ　同
鷄の掻き荒らす藁や冬ざるゝ　米風
なりはひに水汲むヨボや冬ざるゝ　同
冬ざるゝ機杼や戀しき陽の溫み　錦風
冬ざれや明らさまなる鳥の巣　同
冬ざるゝ丘抱き住む小村哉　芳街

牛乳 朝鮮ホテル 南成病院 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

○砂糖と茶の鑑別

▼砂糖は色の純白で糖蜜の含有量の少いものが良い、即ち純白なるものほど良品であります、又結晶の度が小さく指頭で揉み容易に崩れ堅き塊を混ぜないのが良い不純物の混入が少く湯に容易に溶解して透明なるものが良い而して世間にはよく澱粉を混ぜてる物がありますこれは十倍の水に溶解し沃度丁幾一二滴を入れて見ると分る、即ち澱粉が混じて居ると濃青色となります

▼茶の鑑定 日本茶は形がよく緊りて粉末及び細色い軸柄葉を混ぜず乾燥の適度なるが宜い、乾燥の不十分で香氣のない者や變味してるもの又は黴の痕跡あるものは不可ない、又他物の移り香あるものは不良です而して茶の汁は色清く口に入れて吐き出し甘味あり稍澁きものが良い、茶滓を檢し葉の完全なるは良品であるが葉面が粗で厚きものは不良品である

新刊紹介（到着順）

▲良民（八の一二） 東京麴町平河町五の三六良民社
▲刀の研究（四の一二） 三十錢東京下谷茅町二の三荷人社
▲角力世界（七三） 十五錢東京々橋築地一の三共社
▲婦人週報（四の四六） 五錢東京牛込市ヶ谷田町二の一七共社
▲朝鮮商報（一二） 四十錢京城本町三の四五共社
▲黑白（一二號） 十錢東京々橋築地三の一五同發行所
▲獨立公論（十一月號） 十仙 布哇ホノル、市マルチャント街キャンベルブロック二九號其社
▲東亞經濟時報（一〇二） 三十五錢京城明治町一の七六東亞經濟時報社
▲商と工（十一月號） 二十五錢東京々橋新肴町一二共社
▲隨鷗集（一六九） 三十錢東京麻布仲之町一隨鷗吟社
▲朝鮮農會報（一三の一二） 二十錢京畿道水原郡日西面高等農林學校內朝鮮農會
▲天道教會月報（九九） 十錢京城松峴洞三四天道教中央總部內天道教會月報發行所
▲市町村雜誌（三〇〇） 十三錢東京本郷西片町六共社
▲刀劍と歷史（九八） 二十五錢東京府多摩郡澁谷町下澁谷羽澤文庫
▲安東商業會議所月報（四四） 三十錢滿洲安東縣安東商業會議所
▲特許（八） 拾五錢東京芝區櫻川町一七許社

古本賣買 京城明治町通り 御報參上 野村書店 電話三〇五〇